

注: 品質と価値の向上のため、Panduit 製品には継続的な改良と更新が行われています。そのため、画像が同梱の製品と異なる場合があります。

**PANDUIT**[www.panduit.com](http://www.panduit.com)**地域**

米国およびカナダ

中南米

欧州/中東

アジア太平洋

日本

**電話**

1-866-871-4571

1-708-532-1800

+31-546-580-452

65-6305-7575

81-3-6863-6060

**電子メール**

GA-Techsupport@panduit.com

TechSupportLatAm@panduit.com

TechSupportEMEA@panduit.com

TechSupportAP@panduit.com

TechSupportAP@panduit.com



## FCC コンプライアンスステートメント 米国のお客様向け

本装置は FCC 規定 Part 15 に従い、CLASS A デジタルデバイスの制限事項に準拠することがテストにより確認済みです。これらの制限事項は、一般的な商用環境において、本装置を使用する際に発生する有害な電波障害に対して適切な保護対策を行うことを目的としています。本装置は高周波エネルギーを発生、使用します。また、取扱説明書に従って正しく設置し使用しなかった場合、高周波エネルギーを放射する可能性があり、無線通信に有害な電波障害を引き起こすことがあります。人が居住する地域で本装置を利用すると、有害な電波障害を引き起こす可能性があります。その場合は、ユーザー自身の責任と費用において電波障害を解決する必要があります。

## EMS および EMI コンプライアンスステートメント 欧州のお客様向け

本装置は、EN 55022:1998+A1:2000+A2:2003、CISPR 22、Class A EN 55024:1998+A1:2001+A2:2003、IEC 61000-4 Series EN 61000-3-2 / 2000 & EN 61000-3-3 / 1995 に基づく電磁両立性に関する要件についてテストを実施し合格しています。また、放射性および伝導性エミッションの制限に関する欧州規格 EN55022 に従ってテストを実施し合格しています。

## KC コンプライアンスステートメント 韓国のお客様向け

급 기기 (업무용 방송통신기자재) Class A 装置 (産業用放送通信装置)

이 기기는 업무용(A 급) 전자파적합기기로서 판 매자 또는 사용자는 이 점을 주의하시기 바라 며, 가정외의 지역에서 사용하는 것을 목적으로 합니다

本装置は産業用(Class A)電磁波安定性装置です。販売者またはユーザーはその点に留意してください。また、本装置は家庭以外の場所での使用を目的としています。

**本ステートメントの対象である  
TDP43ME プリンタは  
以下の規格に準拠しています。**

EN55022 : 1998、CLSPR 22、Class A / EN55024 : 1998 IEC 61000-4 Serial / EN61000-3-2 : 2000 / EN 6100-3-3 : 1995 / CFR 47、Part 15/CISPR 22 3rd Edition : 1997、Class A / ANSI C63.4 : 2001 / CNS 13438 / IEC60950-1 : 2001/GB4943: 2001/GB9254: 1998/GB17625.1: 2003 /EN60950-1 : 2001

仕様は、予告なしに変更される場合があります。

## 安全に関する手順

	<p><b>警告</b></p> <p>本装置の操作または保守を行う前に、取扱い説明書と安全に関する情報をすべて読んで理解するようにしてください。</p>
	<p><b>警告</b></p> <p>危険な可動部です。指やその他の体の部分を近づけないでください。</p>
	<p><b>要注意</b></p> <p>バッテリーを間違えて交換すると、爆発の危険があります。 必ず製造メーカー推奨のものと同一種類のバッテリーに交換してください。 使用済みのバッテリーは、製造メーカーの指示に従って処分してください。</p>
	<p><b>要注意</b></p> <p>感電の危険：</p> <p>本装置をコンセントに接続する前に、電源電圧を確認してください。 過渡過電圧による損傷の可能性を防止するために、本装置を電源電圧から外してください。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>電気ショックを回避するため、本装置に液体をかけないでください。</li></ul>
	<p><b>要注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>本装置は湿気から遠ざけてください。</li></ul>
	<p><b>要注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> 本装置を開ける際は、安全のため、資格を有する保守担当者のみが行ってください。</li><li><input type="checkbox"/> いかなる場合も、通電した装置の修理または調整は、一人では行わないでください。安全のため、応急手当を行える人物が常に同席する必要があります。</li><li><input type="checkbox"/> 怪我が発生した場合は、即座に応急手当または治療を行ってください。怪我が軽いように見えても、絶対に放置しないでください。</li></ul>

目次

**安全に関する手順 ..... 3**

**1.プリンタ ..... 5**

    1-1.プリンタアクセサリ ..... 5

    1-2. 全般仕様 ..... 5

    1-3.通信 ..... 7

    1-4.プリンタ各部 ..... 9

**2.プリンタの設置 ..... 10**

    2-1.リボンの取り付け ..... 11

    2-2.ラベルの取り付け ..... 13

    2-3.ラベルロールコアの取り付け手順 ..... 14

    2-4.PC接続 ..... 15

    2-5.ドライバのインストール ..... 16

        プリンタをイーサネットポートに接続する場合: ..... 16

        プリンタをイーサネットポートに接続する場合: ..... 18

**3.制御パネル ..... 23**

    3-1.LEDステータス ..... 23

    3-2.FEEDキー ..... 24

    3-3.自己テスト ..... 24

    3-4.感熱紙/熱転写モードの切り換え ..... 25

    3-5.自動感知 ..... 25

    3-6.ダンプモード ..... 25

    3-7.透過型センサーのオン/オフ ..... 26

    3-8.エラーメッセージ ..... 26

**4.メンテナンスと調整 ..... 27**

    4-1.感熱印字ヘッドのクリーニング ..... 27

    4-2.トラブルシューティング ..... 28

    4-3.ドライバのトラブルシューティング ..... 29

        WindowsUpdate(WIN 11)を使用して、USB ポート接続用の  
        プリンタドライバをインストールする場合: ..... 29

        WindowsUpdate(WIN 10)を使用して、USB ポート接続用の  
        プリンタドライバをインストールする場合: ..... 32

        WindowsUpdate(WIN 7)を使用して、USB ポート接続用の  
        プリンタドライバをインストールする場合: ..... 36

        プリンタをイーサネットポートに接続する場合(Win11): ..... 42

        プリンタをイーサネットポートに接続する場合(Win10): ..... 53

        プリンタをイーサネットポートに接続する場合(Win7): ..... 63

**5.警告情報 ..... 76**



# 1.プリンタ

## 1-1.プリンタアクセサリ

開封後、パッケージに同梱されているアクセサリを確認し、適切に保管してください。

- ◆ TDP43MEプリンタ
- ◆ 電源コード
- ◆ スイッチング電源アダプタ
- ◆ USBケーブル
- ◆ 設定ラベル
- ◆ リボン
- ◆ 空のリボンコア
- ◆ 感熱印字ヘッドクリーニングペン
- ◆ TDP43MEクイックガイド
- ◆ Easy-Mark Plus™ CD(ラベル作成ソフトウェア)
- ◆ TDP43ME CD(ドライバ、Control Center、および取扱い説明書)
- ◆ ラベルロールコア
- ◆ ラベルロールコアサイドプレート
- ◆ リボン巻き取りシャフト(2本)
- ◆ ユーティリティナイフ
- ◆ 保証書

## 1-2. 全般仕様

モデル	TDP43ME
解像度	300 dpi (12 dot/mm)
印刷モード	熱転写
CPU	32ビット
メモリ	4MB フラッシュ、8MB SDRAM
印刷速度	2 IPS~4 IPS
印刷長	最低 12mm(0.47 インチ)、 最大 762mm(30 インチ)
印刷幅	105.7mm(4.16 インチ)
センサータイプ	調整可能な反射型センサー; 固定透過型、中心に配置
センサー検出	タイプ: ラベルギャップおよび黒色マーク感知 検出: ラベル長自動感知および/またはプログラムコマンド設定
メディア	ラベルロール OD: 最大 4.92 インチ(125mm) コア径: 1 インチ(25mm)、1.5 インチ(38mm)、3 インチ(76mm) 幅: 1 インチ(25mm)~4.64 インチ(118mm) 厚さ: 0.0025 インチ~0.0098 インチ(0.06~0.25mm)
リボン	長さ: 981 フィート(300M) 最大リボンロール OD: 2.67 インチ(68mm) タイプ: 転写リボン(ハイブリッドおよび樹脂)、幅: 2.5 インチ~4.33 インチ(64mm~110mm) コア内径: 1 フィート(25.4mm)
プリンタ言語	EZPL プログラミング言語
ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>• DLL およびドライバ: Microsoft Windows 2000、Vista(32 および 64 ビット); Microsoft Windows 7、10&amp;11(32 および 64 ビット)</li> </ul> Easy-Mark Plus™ラベル作成ソフトウェア



画像処理	BMP および PCX をサポート。ソフトウェアにより ICO、WMF、JPG、EMF ファイルをサポート。ソフトウェアにより画像のサイズ変更、回転、マッピング、反転をサポート。
内蔵 バーコード	Code 39、Code 93、Code 128 (サブセット A、B、C)、UCC/EAN-128 K-Mart、UCC/EAN-128、UPC A / E (アドオン 2 および 5)、I 2 of 5、I 2 of 5 with Shipping Bearer Bars、EAN 8 / 13 (アドオン 2 および 5)、Codabar、Post NET、EAN 128、DUN 14、MaxiCode、HIBC、Plessey、Random Weight、Telepen、FIM、China Postal Code、RPS 128、PDF417、Datamatrix コード、および QR コード
インターフェイス	シリアルポート: RS-232 (ボーレート: 4800~115200、Xon/Xoff、DSR/DTR) USB ポート: V2.0 イーサネット TCP/IP ポート (無線 - オプション)
制御パネル	2 色 LED × 2: READY、STATUS ファンクションキー: FEED
電力	自動スイッチング 100/240VAC、50/60 Hz
環境	操作: 41° F ~ 104° F (5° C ~ 40° C) 保管時: -4° F ~ 122° F (-20° C ~ 50° C)
湿度	操作: 30~85%、結露不可。通常換気。 保管時: 10~90%、結露不可。通常換気。
認定承認 (A)	CE、FCC Class A、CCC、CB、cUL、RoHS、WEEE、KC、NOM
プリンタ寸法	長さ: 11.2 フィート (285 mm) 高さ: 6.8 フィート (171 mm) 幅: 8.9 フィート (226 mm) 重量: 6 ポンド (2.72 Kg)

**仕様は、予告なしに変更される場合があります。**



### 1-3.通信

シリアルインターフェイス

シリアルデフォルト設定: 9600 ボーレート、パリティなし、8 データビット、1 ストップビット、XON/XOFF プロトコルおよび RTS/CTS。

RS232 ハウジング (9 ピン対 9 ピン)

DB9ソケット		DB9プラグ
---	1	+5V、最大500mA
RXD	2	TXD
TXD	3	RXD
DTR	4	N/C
GND	5	GND
DSR	6	RTS
RTS	7	CTS
CTS	8	RTS
RI	9	N/C
PC		プリンタ

**【注】シリアルポートからの電流出力合計は500mAを超えられません。**



### USBインターフェイス

コネクタタイプ : タイプ B

ピン番号	1	2	3	4
機能	VBUS	D-	D+	GND

### 内部インターフェイス

UART1ウェハー	
N.C	1
TXD	2
RXD	3
CTS	4
GND	5
RTS	6
E_MD	7
RTS	8
E_RST	9
+5 V	10
GND	11
+5 V	12

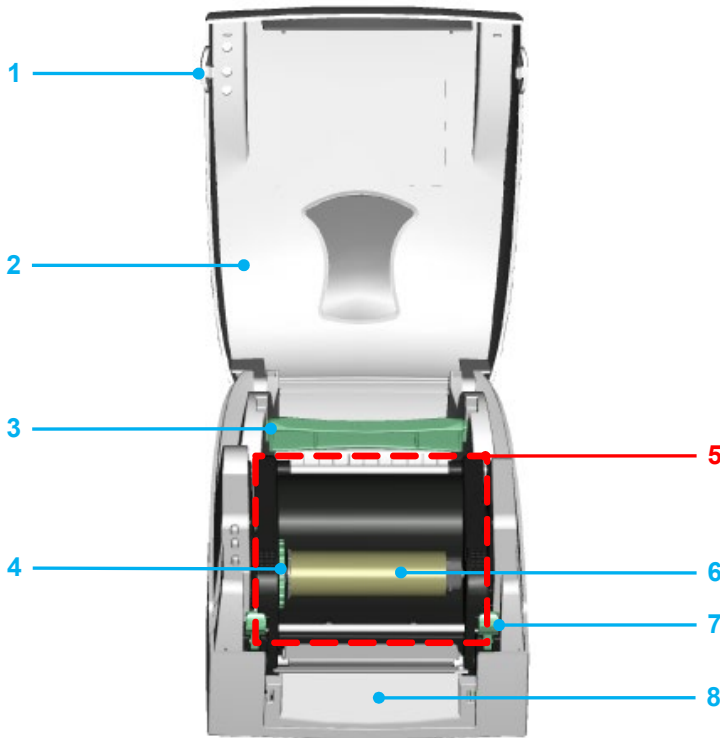
イーサネットモジュール	
N.C	
RXD	
TXD	
RTS	
GND	
CTS	
E_MD	
CTS	
E_RST	
+5 V	
GND	
+5 V	

UART2ウェハー	
+5 V	1
CTS	2
TXD	3
RTS	4
RXD	5
GND	6

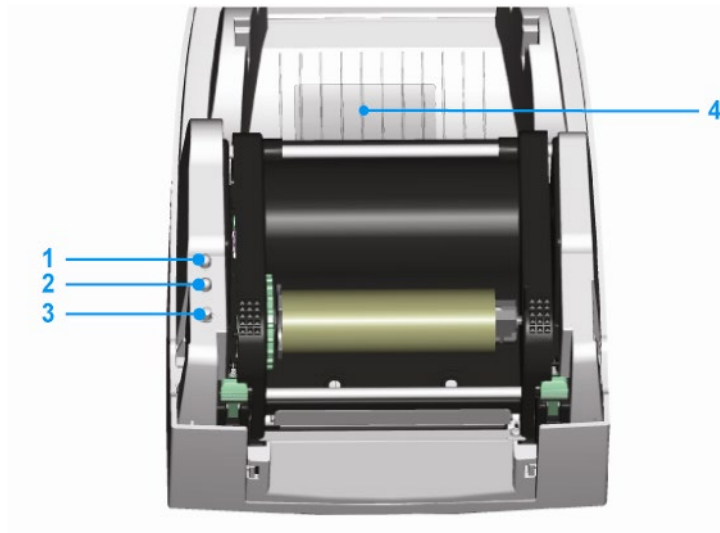
拡張モジュール	
+5 V	
RTS	
RXD	
CTS	
TXD	
GND	



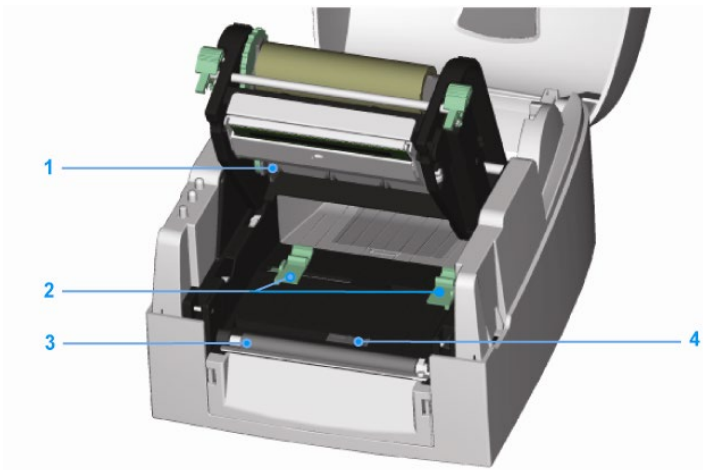
1-4.プリンタ各部



1. カバーオープンボタン
2. 上部カバー
3. ラベルロールコア
4. リボン巻き取りホイール
5. 印刷機構部
6. リボン巻き取りシャフト + 空リボンロール
7. ロック用突起(左/右)
8. 前面カバー部



1. LED 灯(準備完了)
2. LED 灯(ステータス)
3. FEED キー
4. CF カードスロットカバー



1. リボン供給シャフト
2. ラベルガイド(2)
3. プラテンローラー
4. ラベルセンサー



1. 無線ポート/アンテナ (オプション)
2. 背面ラベルスロット
3. ラベル較正ボタン
4. 電源スイッチ
5. ACアダプタソケット
6. USBポート:
7. シリアルポート
8. イーサネットソケット

**注: ラベル較正ボタン(3番)**

ラベル較正を行うためのハードウェアボタン。プリンタの起動時、またはラベルやリボンの素材の交換時に「Media Error(メディアエラー)」と表示された場合に、このボタンを使用できます。  
 (較正ボタンを2秒間押すと、自動感知によりラベルやリボンのパラメータに従って較正が行われます)。

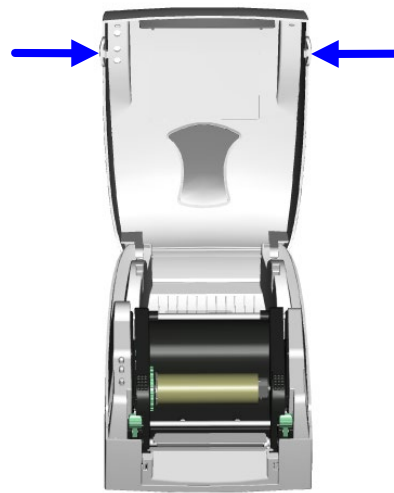
## 2. プリンタの設置

このプリンタモデルには、次の印刷モードがあります。

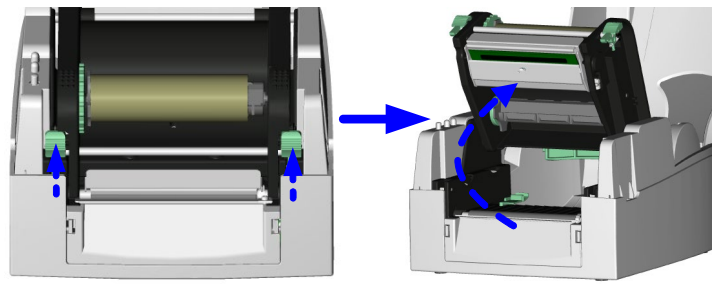
熱転写(TT)	印刷時、印刷コンテンツをメディア上に転写するためにリボンを取り付ける必要があります。
---------	--------------------------------------------

## 2-1.リボンの取り付け

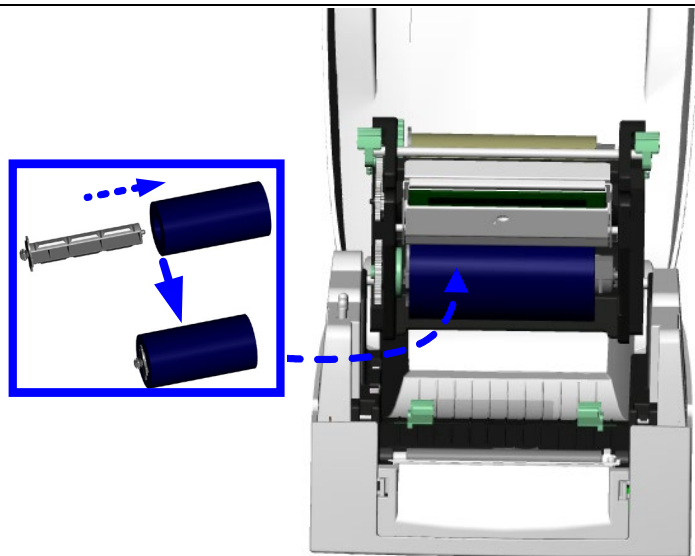
1. プリンタを水平な場所に置き両側面のカバーオープンボタンを押して上部カバーを開きます。



2. ロック用突起を押し、上部の印刷機構部をロック解除して持ち上げます。



3. 新しいリボンロールをリボン供給シャフトに取り付けます。



4. 印字ヘッドの下にあるリボン供給シャフトからリボンを送ります。

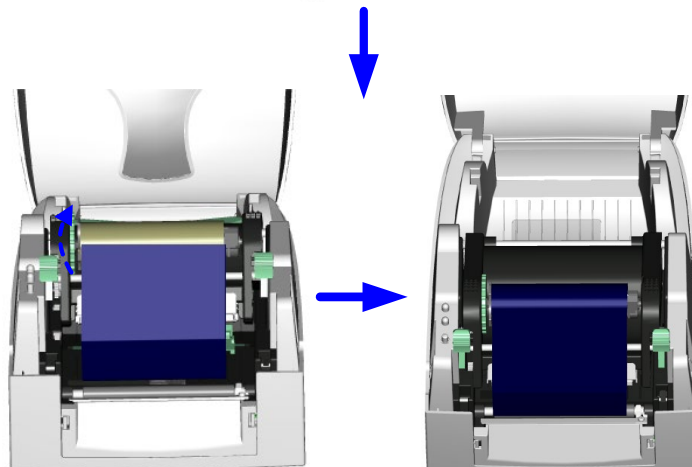
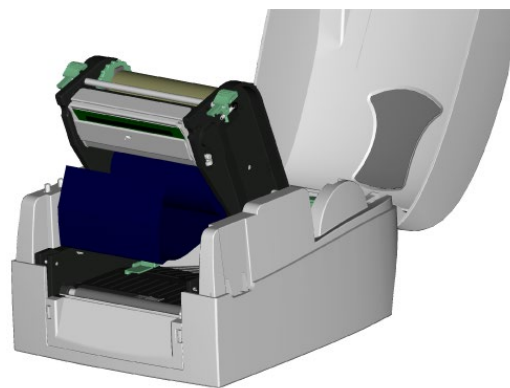
5. リボンを、リボンシャフトに巻き付け、リボンを、空のリボンロールコアに差し込みます。

**【注】**

リボンコアは、リボンシャフト(回転軸)で自由に空転してはなりません。

**【注】**

リボンは、コーティングされた面を外側にする必要があります(印字ヘッドに接触しない側)。



6. 上部の印刷機構部をしっかりと閉じ、印刷機構部の両側をしっかりと押し下げます。



## 2-2.ラベルの取り付け

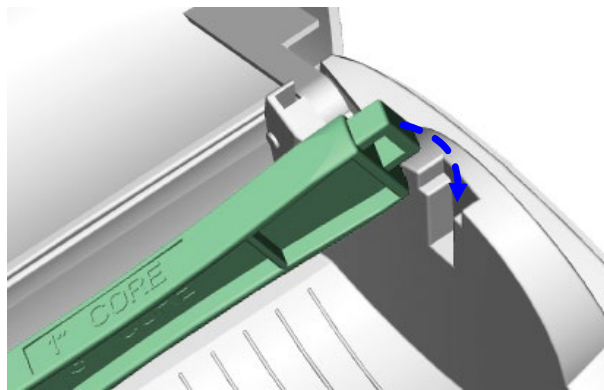
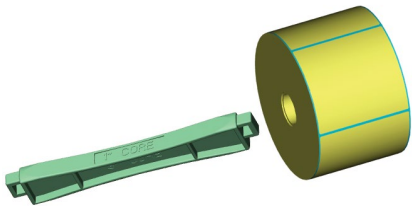
<p>1. 両側面のカバーオープンボタンを押して、上部カバーを開きます。</p>	
<p>2. ラベルロールコアにラベルロールを取り付けます。</p>	
<p>3. ロック用突起を押し、上部の印刷機構部をロック解除して持ち上げます。</p>	
<p>4. 2つのラベルガイドを通して切り取りバーまでラベルを送ります。</p> <p>5. ラベルガイドをラベルの端に揃えます。</p>	

6. 上部の印刷機構部を上から閉じると、ラベルの取り付けは終了です。プリンタの機構部の両側をしっかりと押し下げます。



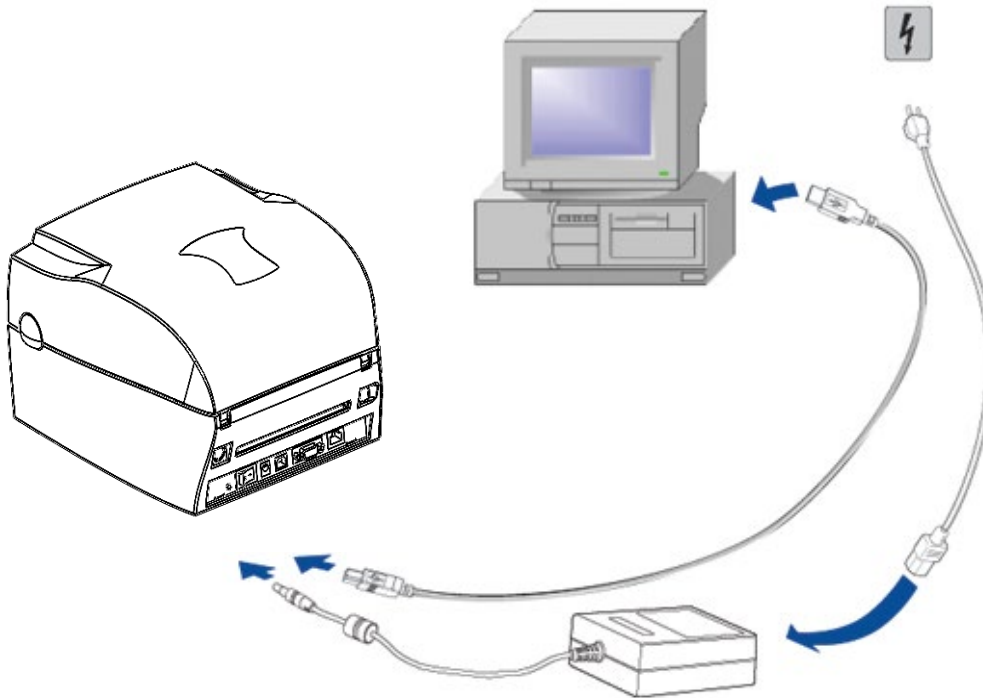
### 2-3.ラベルロールコアの取り付け手順

1 インチのロールコアの取り付け



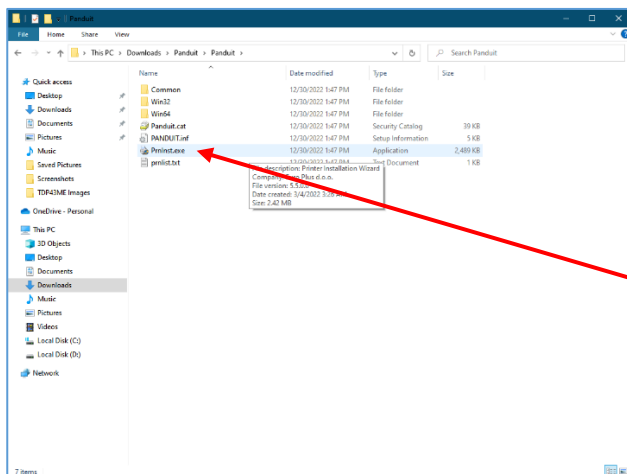
## 2-4.PC 接続

1. プリンタの電源が切れていることを確認してください。
2. 電源ケーブルを電源アダプタに繋ぎ、続いて、電源アダプタの先端をプリンタの電源ソケットに接続し、電源ケーブルを電源コンセントに接続します。
3. USB ケーブルをプリンタと PC の USB ポートに接続します。
4. プリンタの電源を入れたら、プリンタの LED が点灯します。



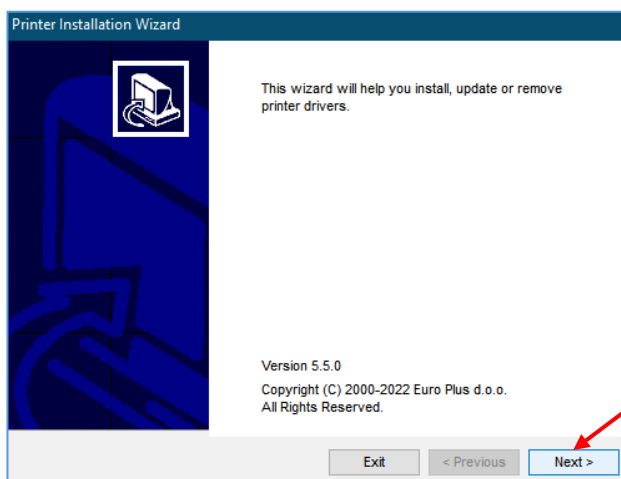
## 2-5.ドライバのインストール

プリンタをイーサネットポートに接続する場合：



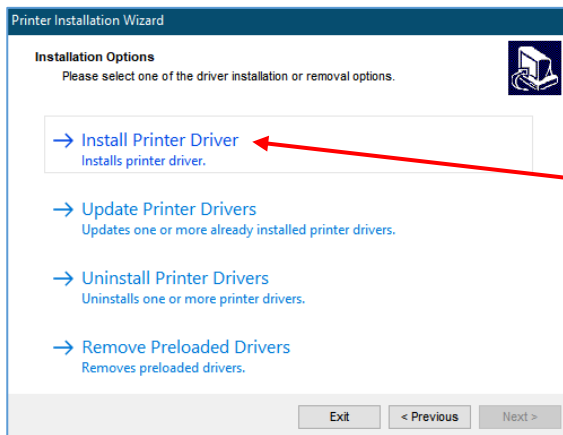
ドライバの.iso ファイルか、Panduit.com のダウンロード可能な.zip ファイルから「Panduit」フォルダに移動します。

PmInst.exe をダブルクリックします。



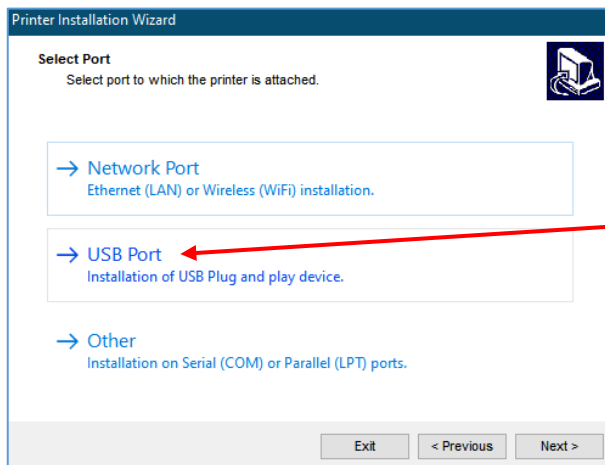
ポップアップが開きます。「はい」をクリックします。

「次へ」をクリックします。

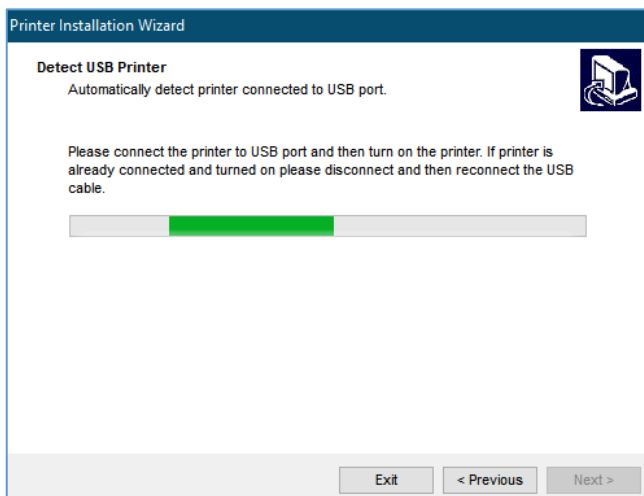


「Install PRINTER DRIVE プリンタドライバのインストール」をクリックします。

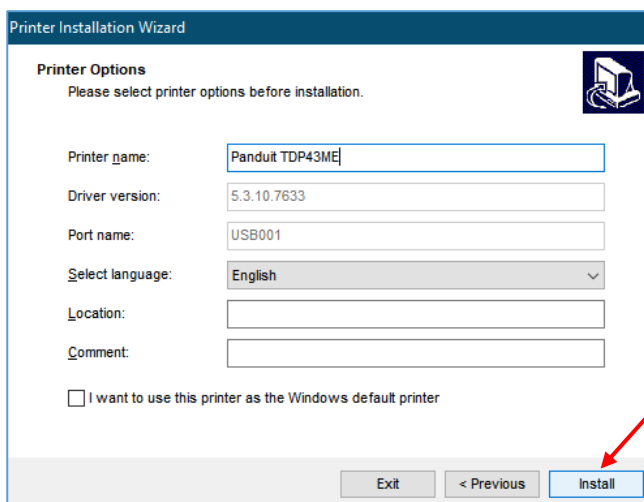




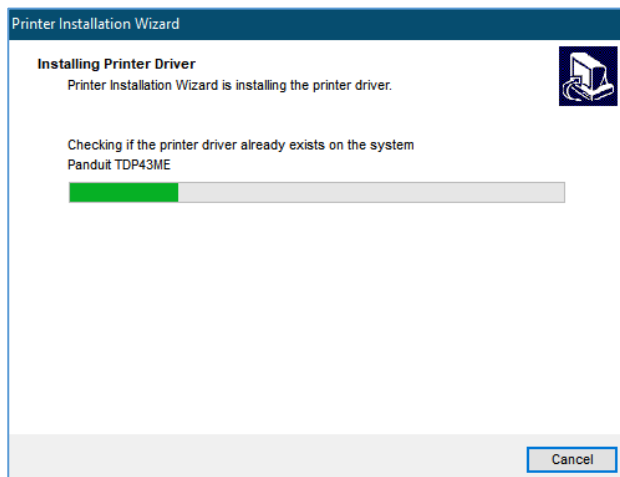
「USB ポート」をクリックします。



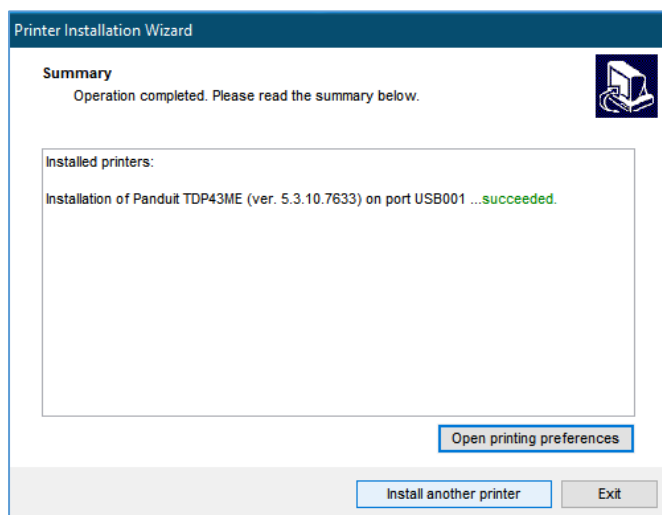
プリンタのインストールウィザードに表示される手順に従ってください。



「インストール」をクリックします



ドライバがインストールされるまで少々お待ちください。



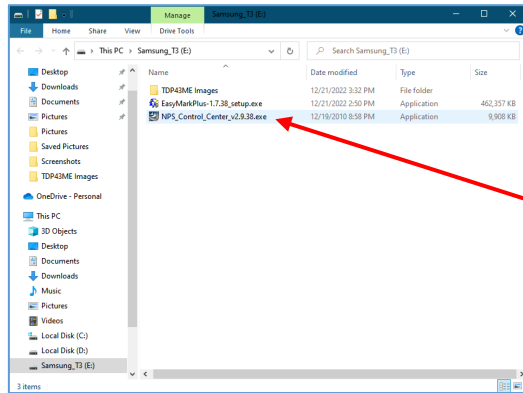
インストールが完了しました。

#### プリンタをイーサネットポートに接続する場合：

イーサネットポート接続用の TDP43ME プリンタドライバをインストールするには、2つの基本手順を行います。以下の手順になります。

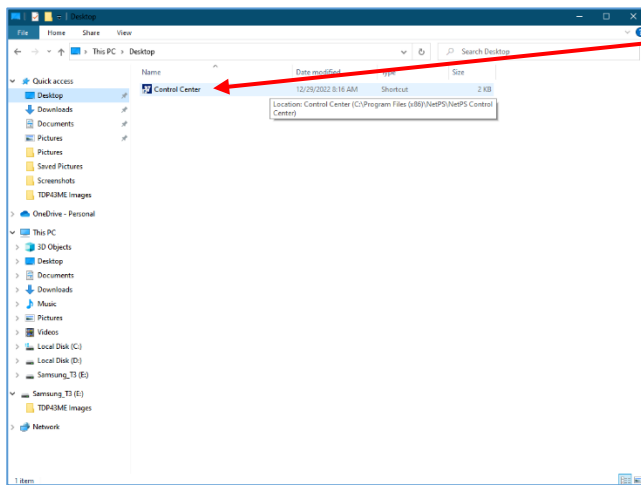
1. プリンタがコンピュータとの通信に使用する IP アドレスを取得します。NetPS Control Center ソフトウェアを使用すると、選択したプリンタの IP アドレスを特定できます。
2. プリンタをネットワークにインストールします。

手順 1. プリンタ用の IP アドレスの取得:



プリンタキットに付属の CD に収録されている Control Center ソフトウェアを開いてインストールするか、または Panduit.com からダウンロードします。

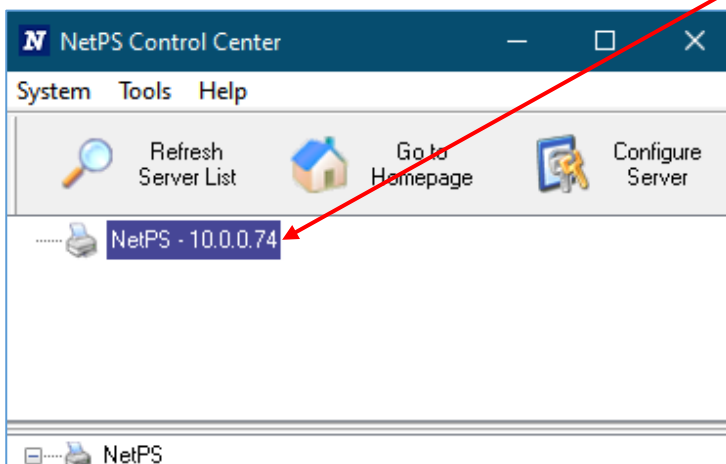
ダウンロードしたファイルを開いて NPS Control Center をインストールします。



NPS Control Center アイコンをダブルクリックしてソフトウェアを起動します。

プリンタのイーサネットポートを覆っているラベルを取り去ります。

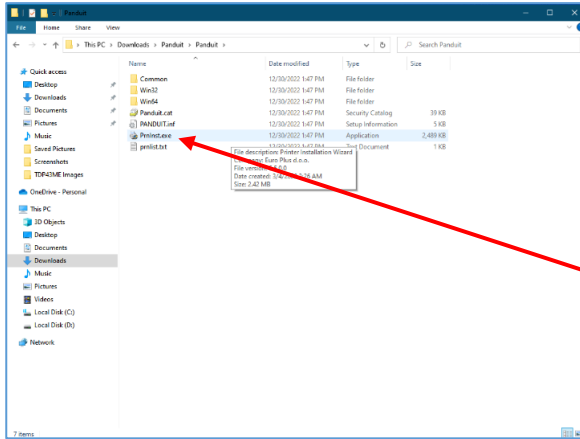
イーサネットケーブルをネットワークコネクタに差し込みます。



CONTROL CENTER ソフトウェアを開き、ソフトウェアが開いたときに表示される NetPS アドレスを書き留めます。(イーサネットケーブルがプリンタに接続している必要があります)。

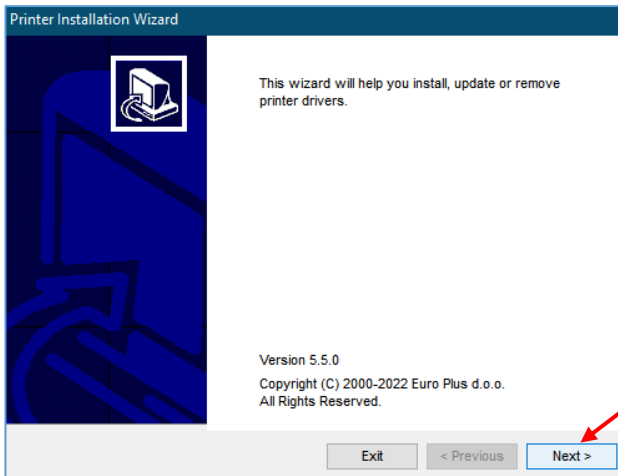
**注:**  
アドレスが NetPS の横に表示されない場合は、イーサネットケーブルが有効でないか、イーサネットケーブルが差し込まれていないまたは有効ではないか、DHCP が IP アドレスを提供していません。数値/アドレスが NetPS の横に表示されていることが**必要**です。このような状況のいずれかに当てはまる場合は、Control Center ソフトウェアを再起動する必要があります。

**手順 2. ネットワークへのプリンタのインストール:**



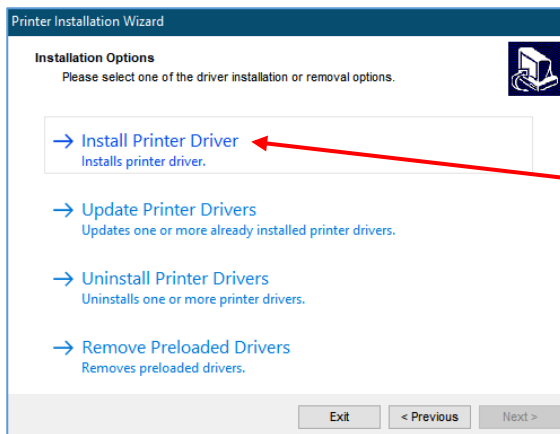
ドライバの.iso ファイルか、Panduit.com のダウンロード可能な.zip ファイルから「Panduit」フォルダに移動します。

PrnInst.exe をダブルクリックします。

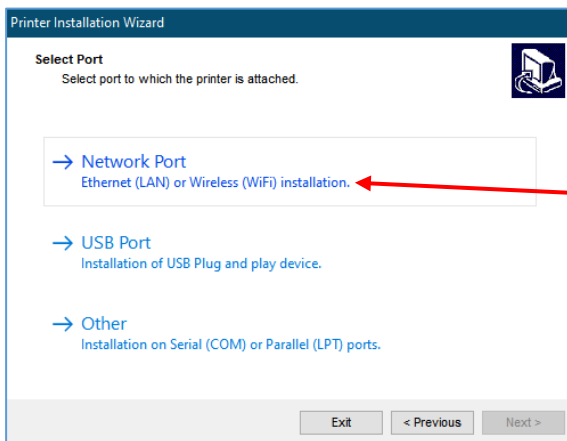


ポップアップが開きます。「はい」をクリックします。

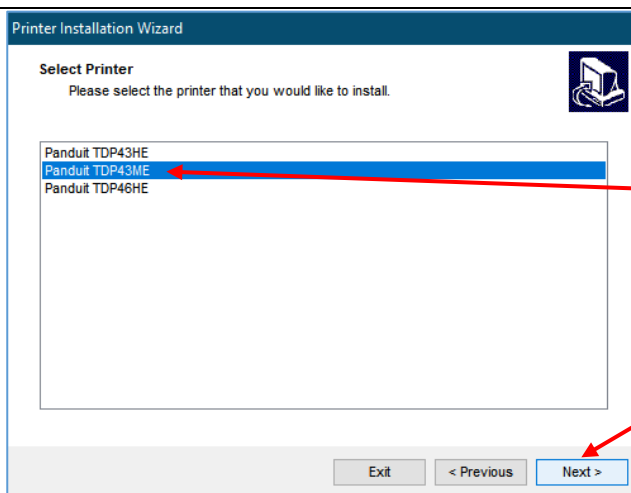
「次へ」をクリックします。



「プリンタドライバのインストール」をクリックします。

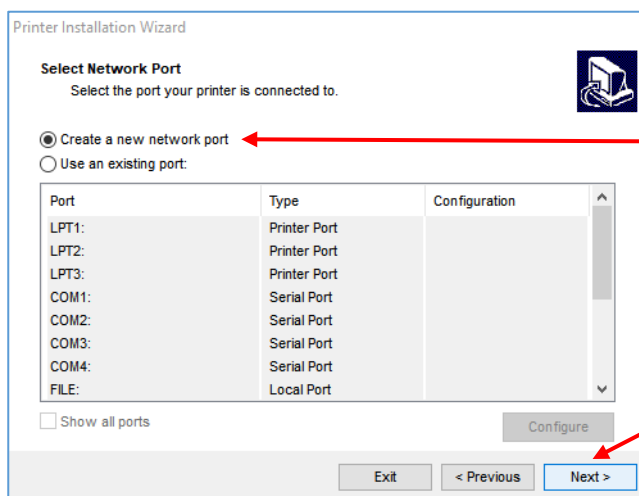


「ネットワークポート」をクリックします。



「Panduit TDP43ME」を選択します。

「次へ」をクリックします。



「(新規ネットワークポートの作成)」のオプションをクリックします。

「次へ」をクリックします。



Printer Installation Wizard

**Add Network Port**  
Enter port configuration for the desired printer.

Port name: LAN\_Panduit\_TDP43ME

Printer Name or IP Address: 10.0.0.80

Port number: 9100

Exit < Previous Next >

先ほど書き留めたアドレスを「プリンタ名」または「IP アドレス」フィールドに入力します。

「次へ」をクリックします。

Printer Installation Wizard

**Printer Options**  
Please select printer options before installation.

Printer name: Panduit TDP43ME

Driver version: 5.3.10.7633

Port name: LAN\_Panduit\_TDP43ME

Select language: English

Location:

Comment:

I want to use this printer as the Windows default printer

Exit < Previous Install

「インストール」をクリックします

Printer Installation Wizard

**Summary**  
Operation completed. Please read the summary below.

Created printer ports:  
Creation of printer port LAN\_Panduit\_TDP43ME ...succeeded.

Installed printers:  
Installation of Panduit TDP43ME (ver. 5.3.10.7633) on port LAN\_Panduit\_TDP43ME ...succeeded.

Open printing preferences

Install another printer Exit

インストールが完了しました。

### 3.制御パネル

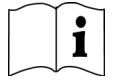
#### 3-1.LED ステータス

FEED キーを押したまま、プリンタの電源を入れると、プリンタは 3 回ビープ音を発して、自己テストステータスに入ります。FEED キーを押し続けると、ステータスは、自動感知モード、ダンプモード、感熱紙モード、熱転写モード、透過型センサーのオン/オフの順に変更され、再び自己テストに戻ります。これらのさまざまなステータスでは、次に示すようにプリンタの設定を変更できます。

	FEED	LEDライト	ビープ	ステータス	説明	
	READY	緑	1	通常ステータス	通常ステータス	
	STATUS					
	FEED キーを押したまま、プリンタの電源を入れます。					
	↓					
	READY	赤(点滅)	3	自己テスト	自己テストページを印刷します。操作手順については、55 ページを参照してください。	
	STATUS	オレンジ				
	↓					
	READY	オレンジ(点滅)	1	自動感知モード	プリンタは現在、自動感知モードになっています。操作手順については、56 ページを参照してください。	
	STATUS	オレンジ				
	↓					
	READY	緑(点滅)	1	ダンプモード	プリンタは現在、ダンプモードになっています。操作手順については、56 ページを参照してください。	
	STATUS	オレンジ				
	↓					
	READY	赤(点滅)	1	感熱紙(DT)モード	プリンタを感熱紙(DT)モードに設定します。操作手順については 56 ページを参照してください。	
	STATUS	赤				
↓						
READY	オレンジ(点滅)	1	熱転写(TT)モード	プリンタを熱転写(TT)モードに設定します。操作手順については 56 ページを参照してください。		
STATUS	赤					
↓						
READY	緑(点滅)	1	透過型センサーのオン/オフ	透過型センサーをオンまたはオフに設定します。操作手順については 57 ページを参照してください。		
STATUS	赤					
↓						
自己テストに戻ります。						
↓						
READY					プリンタは現在、ファームウェアをダウンロードしています。	
STATUS	赤(点滅)					







### 3-4. 感熱紙/熱転写モードの切り換え

1. プリンタの電源を切り、FEED キーを押し続けます。
2. プリンタの電源を入れると(FEED キーを押したまま)、プリンタのビープ音が 3 回鳴ります。FEED キーを押し続け、STATUS ライトが赤色に変わり、READY ライトが赤色で点滅するまで待ってから、FEED キーを放します。プリンタは感熱紙(DT)モードになり、自動的に「NOW IS DIRECT THERMAL (DT MODE)(現在、感熱紙(DT)モードです)」と印刷されます。これは、プリンタが現在、DT モードになっていることを示します。
3. プリンタの電源を入れると(FEED キーを押したまま)、プリンタのビープ音が 3 回鳴ります。FEED キーを押し続け、STATUS ライトが赤色に変わり、READY ライトがオレンジ色で点滅するまで待ってから、FEED キーを放します。プリンタは熱転写(TT)モードになり、自動的に「NOW IS THERMAL TRANSFER (TT MODE)(現在、熱転写(TT)モードです)」と印刷されます。これは、プリンタが現在、TT モードになっていることを示します。

NOW IS THERMAL TRANSFER (TT MODE)(現在、熱転写(TT)モードです)

NOW IS DIRECT THERMAL (DT MODE)(現在、感熱紙(DT)モードです)

### 3-5. 自動感知

プリンタは自動的にラベル(透過)長を検出し、それを記録できます。このため、プリンタは、印刷長を設定せずに、ラベル(ギャップ)位置を正確に検出することができます。

1. ラベルセンサーが正しい感知位置に置かれているかどうかを確認します。
2. プリンタの電源を切り、FEED キーを押し続けます。
3. プリンタの電源を入れると(FEED キーを押したまま)、プリンタのビープ音が 3 回鳴ります。FEED キーを押し続け、STATUS ライトがオレンジ色に変わり、READY ライトがオレンジ色で点滅するまで待ってから、FEED キーを放します。プリンタは自動的にラベルサイズ/長を検出し、それを記録します。

プリンタは測定を実行した後、スタンバイモードに戻ります。

### 3-6. ダンプモード

ラベル設定と印刷結果が互いに一致しない場合、ダンプモードに変更して、プリンタと PC 間のデータ転送にエラーがないかどうかを確認することをお勧めします。たとえば、プリンタが 8 つのコマンドを受信したが、これらのコマンドを処理せずに、コマンドの内容だけを出力した場合、このモードはコマンドが正しく受信されたかどうかを確認します。ダンプモードに入るテスト手順は以下のとおりです。

1. プリンタの電源を切り、FEED キーを押し続けます。
2. プリンタの電源を入れます(FEED キーを押し続けたまま)。
3. FEED キーを押し続け、STATUS ライトがオレンジ色に変わり、READY ライトが緑色で点滅するまで待ってから、FEED キーを放します。自動的に「DUMP MODE BEGIN(ダンプモード開始)」と出力されます。これは、プリンタが既にダンプモードになっていることを示します。
4. プリンタにコマンドを送信し、出力と送信したコマンドが一致するかどうかを確認します。

取り消す(ダンプモードから出る)には、FEED キーを押します。自動的に「OUT OF DUMP MODE(ダンプモード解除)」と出力されます。これは、プリンタがスタンバイモードに戻っていることを示します。プリンタの電源を切って、ダンプモードを終了することもできます。

### 3-7.透過型センサーのオン/オフ

TDP43ME プリンタには、反射型センサーと透過型センサーの 2 種類のセンサーがあります。ユーザーは、どちらかを有効なセンサーに設定できます。デフォルトでは、透過型センサーがオンになっており、反射型センサーはオフになっています。

透過型センサーをオフにするには、次のように操作します。

1. プリンタの電源を切り、FEED キーを押し続けます。
2. プリンタの電源を入れると(FEED キーを押したまま)、プリンタのビーブ音が 3 回鳴ります。FEED キーを押し続け、STATUS ライトが赤色に変わり、READY ライトが緑色で点滅するまで待ってから、FEED キーを放します。「SEE-THROUGH SENSOR IS OFF (透過型センサーオフ)」と自動的に出力されます。これは透過型センサーがオフに (反射型センサーがオン) になったことを示します。
3. 透過型センサーをオンにするには、上記の手順を繰り返してください。その結果、「SEE-THROUGH SENSOR IS ON (透過型センサーオン)」と出力され、透過型センサーがオンになったことを示します。

**SEE-THROUGH SENSOR IS ON (透過型センサーオン)**  
または  
**SEE-THROUGH SENSOR IS OFF (透過型センサーオフ)**

透過型センサーのステータス(オンまたはオフ)を確認するには、自動感知を一度実行してください。自動感知を行ったときに、READY ライトと STATUS ライトがどちらも緑色であれば、透過型センサーはオンになっています。READY ライトと STATUS ライトがどちらもオレンジ色であれば、透過型センサーはオフになっています。

**【注】**

**透過型センサーをオンにしている場合、ラベルセンサーは、プリンタの中心に置く必要があります。**

### 3-8.エラーメッセージ

LEDライト		ビーブ	説明	解決策
READY	ステータス (Status)			
	赤	4つのビーブ音が2回	印字ヘッドがしっかりと閉じられていません。	印字ヘッドを再度開いて、確実にしっかり閉じてください。
赤 (点滅)	赤 (点滅)	なし	印字ヘッドの温度が高すぎます。	印字ヘッドの温度が通常の温度域に下がるまで待ちます。プリンタはスタンバイモードに戻り、LED ライトは点滅を停止します。
	赤	3つのビーブ音が2回	リボンが取り付けられておらず、プリンタにエラーメッセージが表示されます。	プリンタが感熱紙モードになっていることを確認します。
			リボンを使い終わったか、リボン供給シャフトが回転していません。	新しいリボンロールに交換します。
	赤	2つのビーブ音が2回	用紙を検出できません。	可動センサーマークが正しい位置にあることを確認します。それでもセンサーが用紙を検出できない場合は、もう一度、自動感知を行います。
			用紙が使い終わりました。	新しいラベルロールに交換します。

	赤	2つのビーブ音が2回	異常な給紙です。	考えられる原因: カードタグまたは用紙が、プラテンローラー背後の隙間に落ちた、ラベルギャップ/黒色マークが見つからない、黒色マークが用紙の外実際の使用に合わせて調整してください。
	赤	2つのビーブ音が2回	メモリ一杯です。「Memory full(メモリ満杯)」と出力されます。	メモリ内の不要なデータを削除してください。
	赤	2つのビーブ音が2回	ファイルが見つかりません。「Filename cannot be found(ファイル名が見つかりません)」と出力されます。	「~X4」コマンドを使用して、すべてのファイルを出力します。ファイルが存在し、ファイル名が正しいかどうかを確認してください。
	赤	2つのビーブ音が2回	ファイル名が繰り返されます。「Filename is repeated.(ファイル名が繰り返されます)」と出力されます。	ファイル名を変更し、もう一度ダウンロードしてください。

## 4.メンテナンスと調整

### 4-1.感熱印字ヘッドのクリーニング

印刷品質の低下は、印字ヘッドの汚れ、リボンの消耗、またはラベル粘着剤の蓄積が原因と考えられます。印刷時には上部カバーを閉じてください。また、良好な印刷品質を確保し、印字ヘッドの寿命を延ばすため、ラベルメディアが汚れたり傷つかないようにしてください。印字ヘッドのクリーニング手順は以下のとおりです。

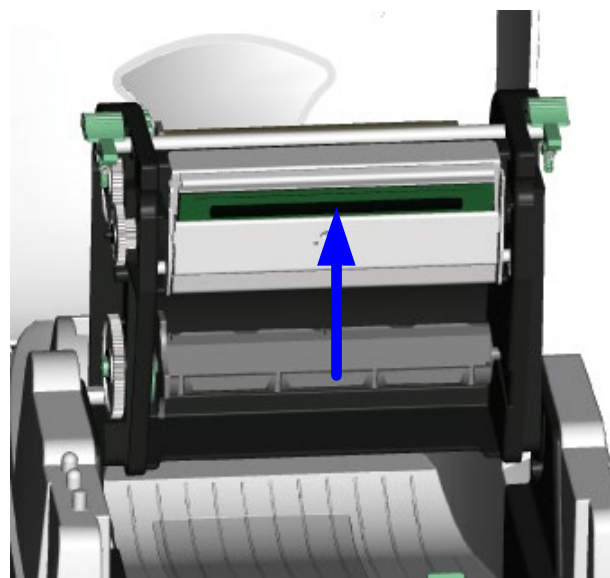
1. プリンタの電源を切ります。
2. 上部カバーを開きます。
3. リボンを取り出します。
4. ロック用突起を押して、印字ヘッドを開きます。
5. 印字ヘッドの上に(青色の矢印参照)、ラベルのかけらやその他の汚れがある場合は、柔らかい布に工業用アルコールを含ませて、汚れを拭き取ってください。

**【注1】**

印字ヘッドのクリーニングは週に一度行うことをお勧めします。

**【注2】**

柔らかい布で印字ヘッドをクリーニングするときは、金属などの硬質な粒が印字ヘッドに付着していないことを確認してください。



## 4-2.トラブルシューティング

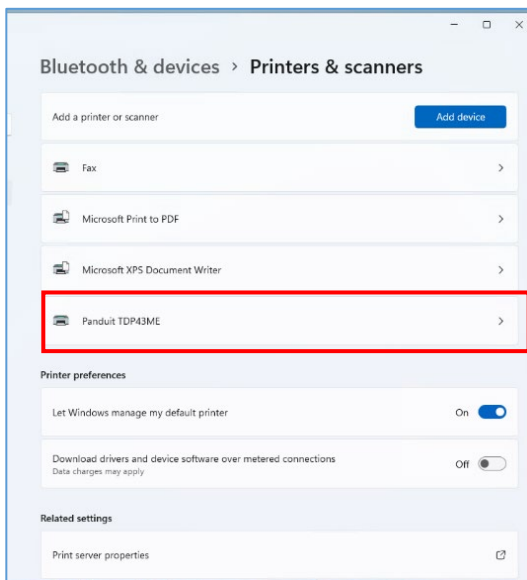
問題	推奨の解決策
プリンタの電源を入れても、LED が点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 電源コネクタを確認する</li> </ul>
印刷が停止した後、LED ライトが赤色 (電源/ステータス)になる	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ソフトウェア設定またはプログラムコマンドエラーを確認する</li> <li>◆ 適切なラベルまたはリボンに交換する</li> <li>◆ ラベルまたはリボンが切れていないか確認する (リボンコアがリボン回転軸で空転していないことを確認する)</li> <li>◆ ラベルが紙詰まりしていたり、からまっていないか確認する</li> <li>◆ 機構部が閉じていない (感熱印字ヘッドが正しい位置にない)か確認する</li> <li>◆ センサーが紙またはラベルでふさがっていないか確認する (プリンタ中央右寄りのセンサー)</li> </ul>
印刷が開始するが、ラベルに何も印刷されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ラベルが裏表逆に置かれていないか、ラベルがアプリケーションに適したものでないか確認する</li> <li>◆ 正しいプリンタドライバを選択する</li> <li>◆ 正しいラベルと印刷タイプを選択する</li> </ul>
印刷時に、ラベルが紙詰まりしていたり、からまっている	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ラベルの紙詰まりを取り除く。ラベルが感熱印字ヘッドに付着している場合は、アルコールを含ませた柔らかい布を使用して拭き取る。</li> </ul>
印刷時に、一部のコンテンツしか印刷されなかった	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ラベルまたはリボンが感熱印字ヘッドに付着していないか確認する</li> <li>◆ アプリケーションソフトウェアにエラーがないか確認する</li> <li>◆ 開始位置設定にエラーがないか確認する</li> <li>◆ リボンにしわがないか確認する</li> <li>◆ リボン供給シャフトがプラテンローラーに当たっていないか確認するプラテンローラーを交換する必要がある場合は、詳細については販売代理店にお問い合わせください。</li> <li>◆ 電源が正しいことを確認する</li> </ul>
印刷時、ラベルの一部が完全には印刷されなかった	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 感熱印字ヘッドが汚れていたりほこりが付いていないか確認する</li> <li>◆ 内部コマンド「~T」を使用して、感熱印字ヘッドが完全に印刷できるかどうか確認する</li> <li>◆ メディアの品質を確認する</li> </ul>
目的の位置に出力されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ センサーが用紙またはほこりに覆われていないか確認する</li> <li>◆ ライナーが使用に適しているか確認する。詳細については販売代理店にお問い合わせください。</li> <li>◆ 正しいラベルを選択する</li> <li>◆ ラベルソフトウェアでのラベル設定を確認する</li> <li>◆ ラベルロールの端がラベル幅ガイドと揃っているか確認する</li> </ul>
印刷時に、ページのスキップが発生する	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ラベルの高さ設定にエラーがないか確認する</li> <li>◆ センサーがほこりに覆われていないか確認する</li> </ul>
印刷結果が不明瞭である	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 印刷の明暗設定を確認します。</li> <li>◆ 感熱印字ヘッドが接着剤または汚れで覆われていないか確認する</li> </ul>

### 【注】

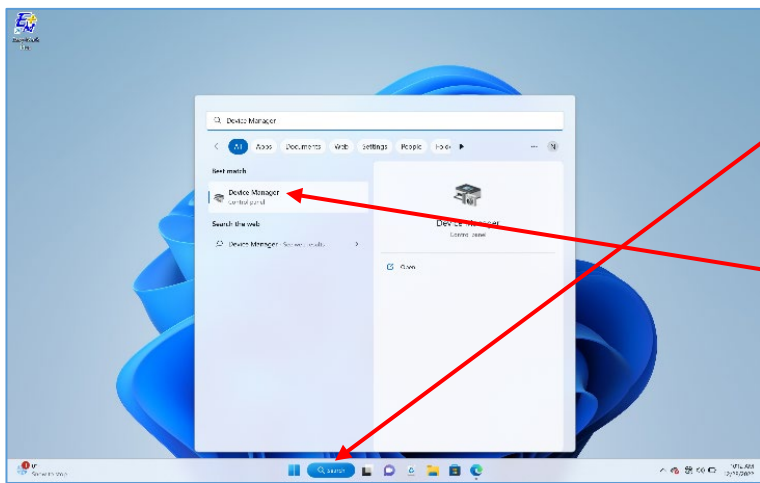
担当の代理店は、プリンタ、印刷ソフトウェア、およびお使いのシステムに精通しています。  
お近くの代理店、またはテクニカルサポートラベルに記載の電話番号にお問い合わせください。

### 4-3.ドライバのトラブルシューティング

WindowsUpdate (WIN 11)を使用して、USB ポート接続用のプリンタドライバをインストールする場合：

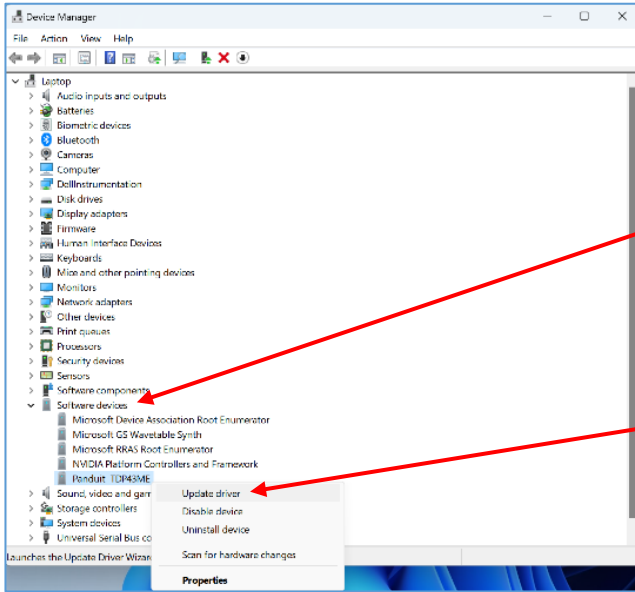


プリンタを USB ポートに接続した場合、プリンタの電源を入れると、「プリンターとスキャナー」の設定ウィンドウに、プリンタがインストール済みであることが表示されます。



2分たっても「プリンターとスキャナー」にプリンタが表示されない場合は、ホーム画面左下の検索バーをクリックし、「デバイスマネージャー」と入力します。

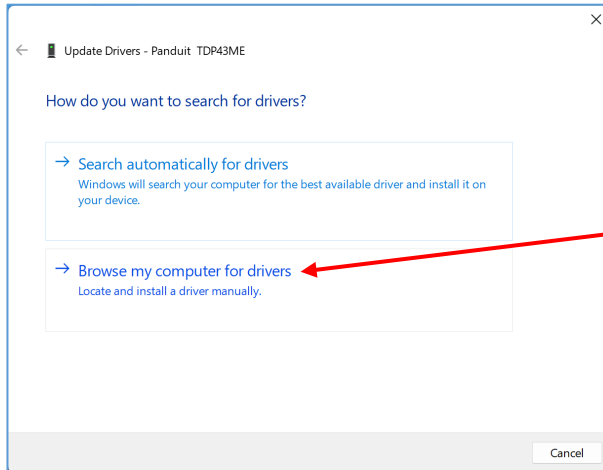
デバイスマネージャーアプリケーションをクリックします。



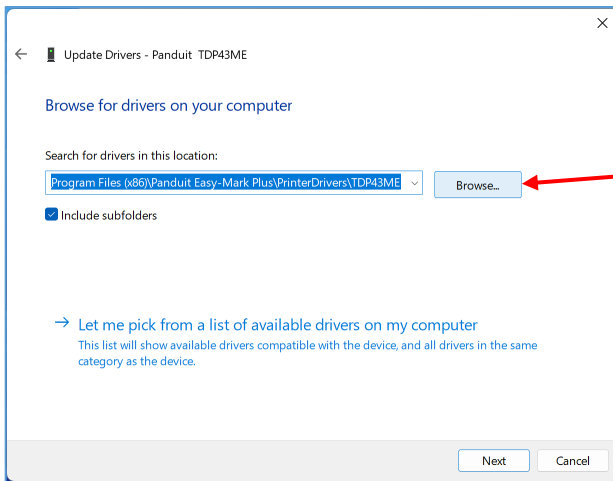
デバイスマネージャーが開いたら、「ソフトウェアデバイス」を展開します。

「Panduit TDP43ME」という名のデバイスを右クリックします。

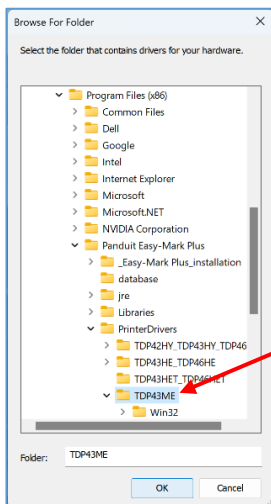
次に「ドライバーの更新」をクリックします。



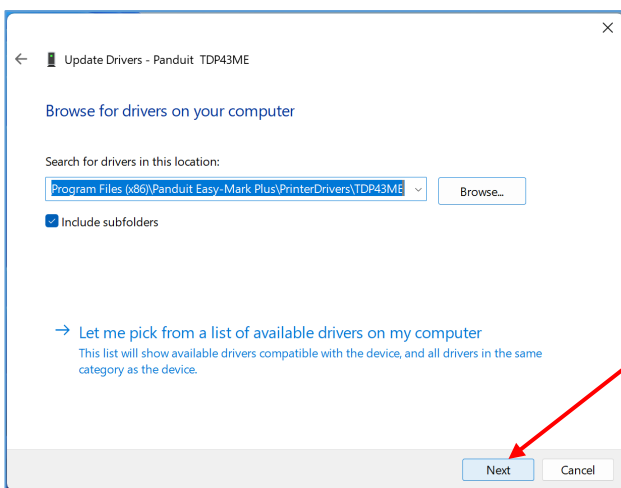
「コンピューターを参照してドライバーを検索」をクリックします。



「参照」をクリックして、ドライバのフォルダ (C:\Program Files (x86)\Panduit Easy-Mark Plus\PrinterDrivers\TDP43ME 内か、プリンタキットの付属 CD 内) を探します。

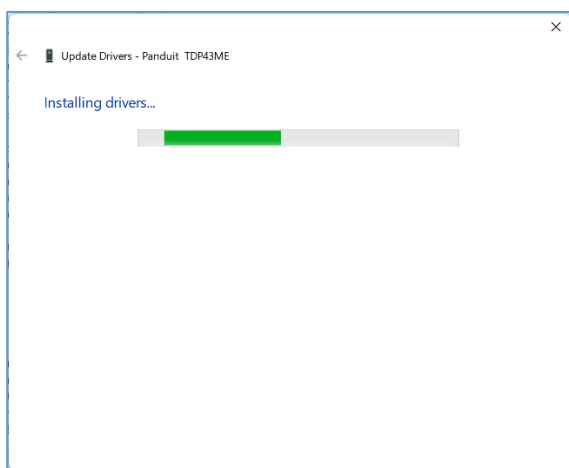


TDP43ME を強調表示して、「OK」をクリックします。

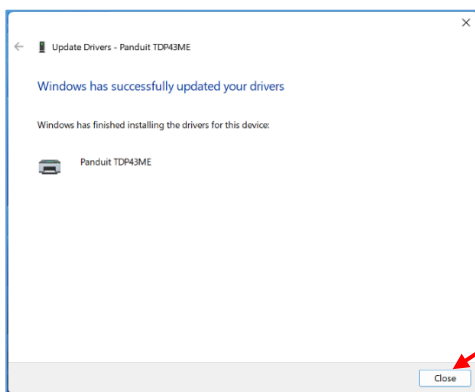


このウィンドウが再び表示されます。

「次へ」をクリックします。



このウィンドウは、新しいドライバのインストール中であることを示しています。

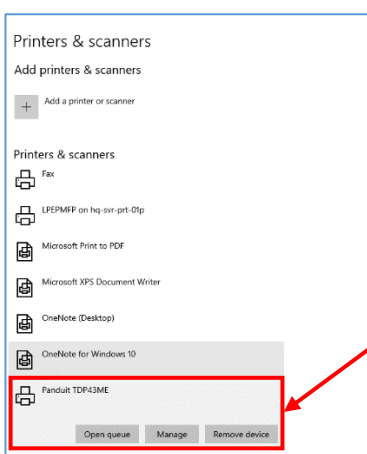


このウィンドウは、新しいドライバが正しくインストールされたことを示します。

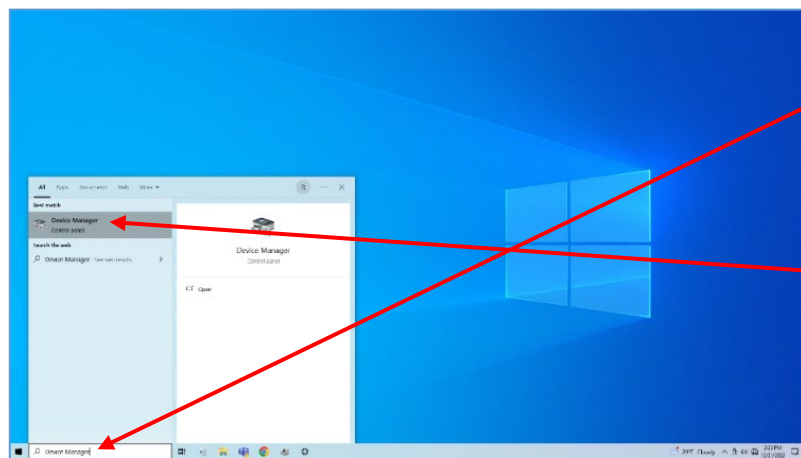
「閉じる」をクリックします。

インストールが完了しました。

### WindowsUpdate (WIN 10)を使用して、USB ポート接続用のプリンタドライバをインストールする場合:



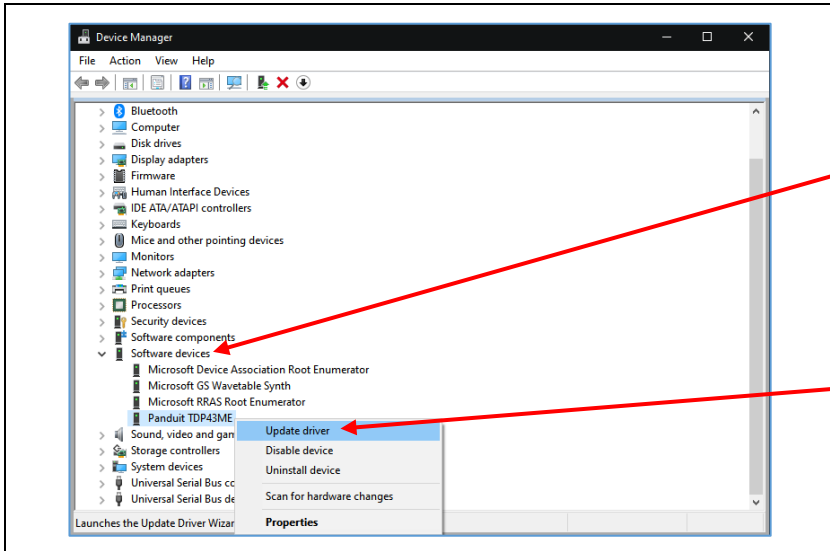
プリンタを USB ポートに接続した場合、プリンタの電源を入れると、「プリンターとスキャナー」の設定ウィンドウに、プリンタがインストール済みであることが表示されます。



2分たっても「プリンターとスキャナー」にプリンタが表示されない場合は、ホーム画面左下の検索バーをクリックし、「デバイスマネージャー」と入力します。

デバイスマネージャーアプリケーションをクリックします。

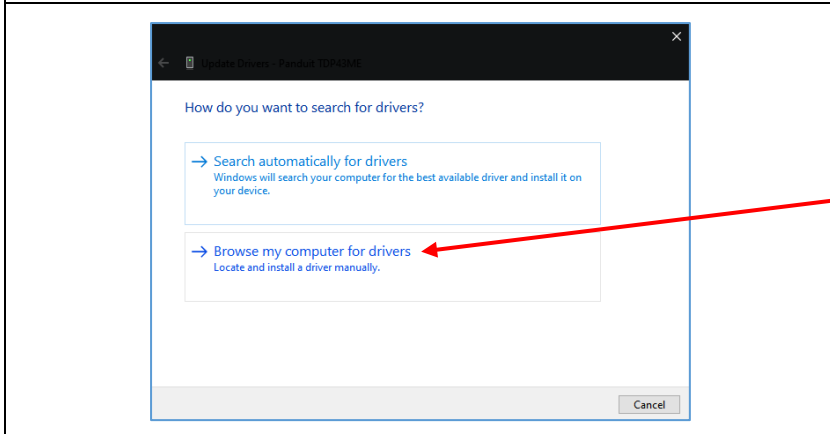




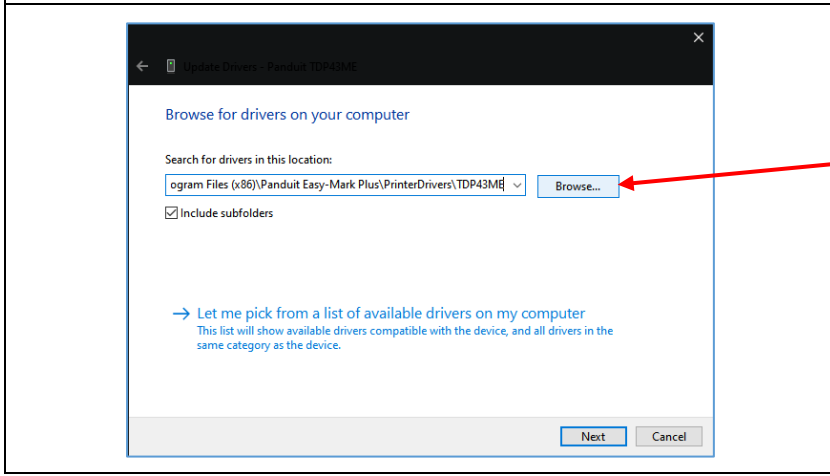
デバイスマネージャーが開いたら、「ソフトウェアデバイス」を展開します。

「Panduit TDP43ME」という名のデバイスを右クリックします。

次に「ドライバーの更新」をクリックします。

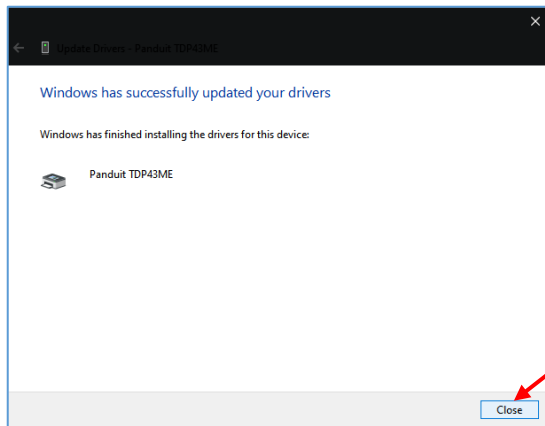


「コンピューターを参照してドライバーを検索」をクリックします。



「参照」をクリックして、ドライバのフォルダ (C:\Program Files (x86)\Panduit Easy-Mark Plus\PrinterDrivers\TDP43ME 内か、プリンタキットの付属 CD 内) を探します。

	<p>TDP43ME を強調表示して、「OK」をクリックします。</p>
	<p>このウィンドウが再び表示されます。 「次へ」をクリックします。</p>
	<p>このウィンドウは、新しいドライバのインストール中であることを示しています。</p>

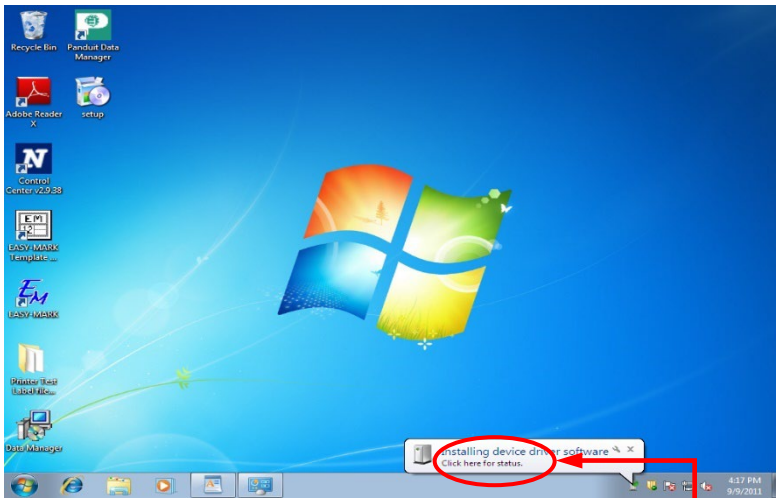


このウィンドウは、新しいドライバが正しくインストールされたことを示します。

「閉じる」をクリックします。

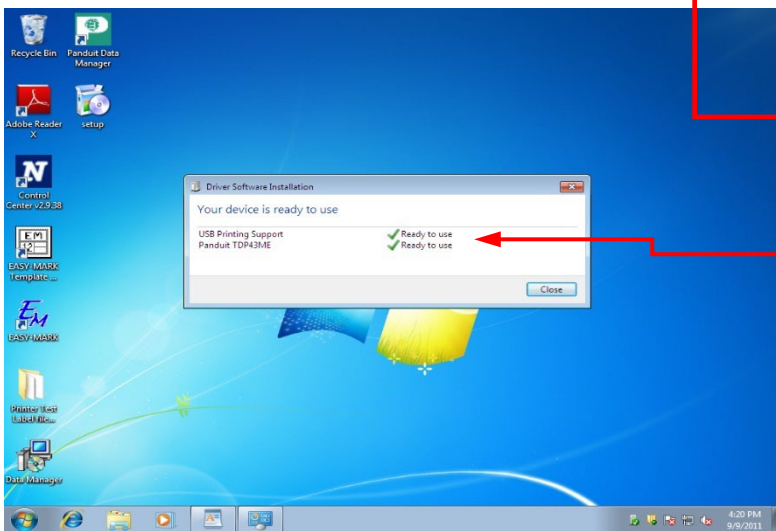
インストールが完了しました。

### WindowsUpdate (WIN 7)を使用して、USB ポート接続用のプリンタドライバをインストールする場合：



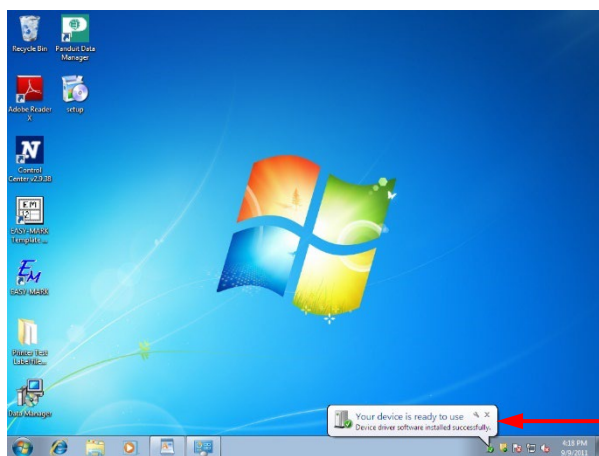
プリンタを USB ポートに接続した場合、プリンタの電源を入れると、次のウィンドウが表示されます。

このインストールはほとんどの場合、操作しなくても進んでいきます。

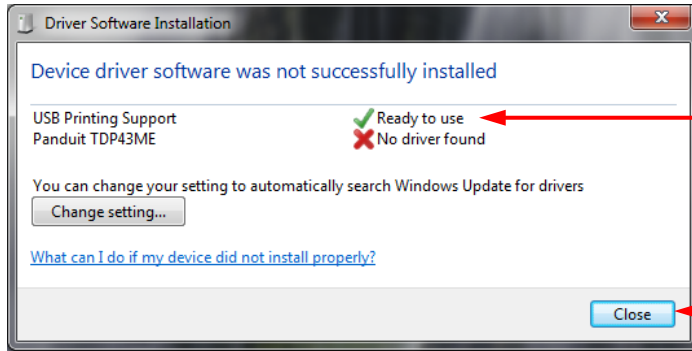


「ステータスを見るにはここをチェックしてください」というバルーンをクリックすると、左側にポップアップウィンドウが表示されます。

これは、すべてのプロセスが完了し、プリンタドライバが正しくインストールされたことを示しています。

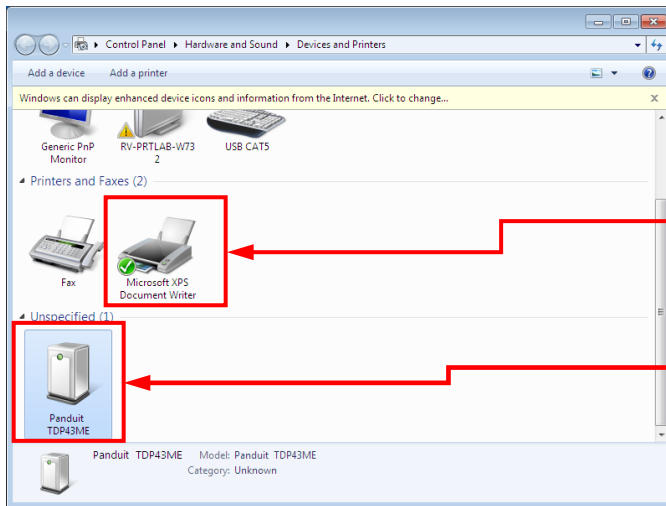


これで、プリンタを使用できる準備が整いました。



もし、前の手順でポップアップバルーンが表示されない場合、「デバイスは正しくインストールされませんでした」というバルーンが表示されます。

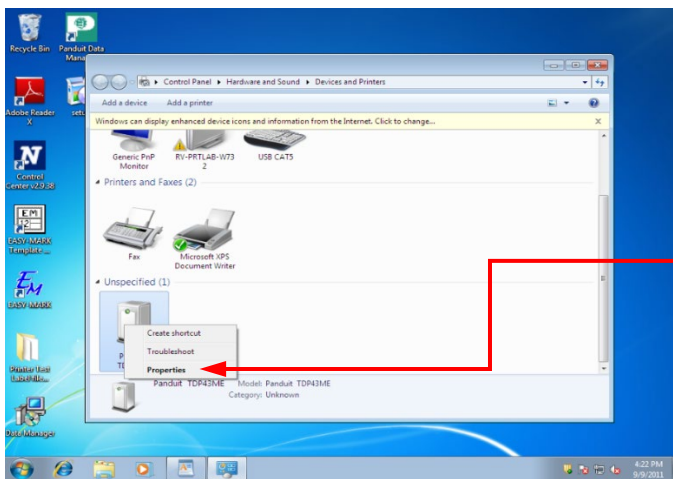
このバルーンをクリックすると、左側にウィンドウが表示されます。この場合は、TDP43MEドライバが見つかりませんでした。「閉じる」をクリックします。



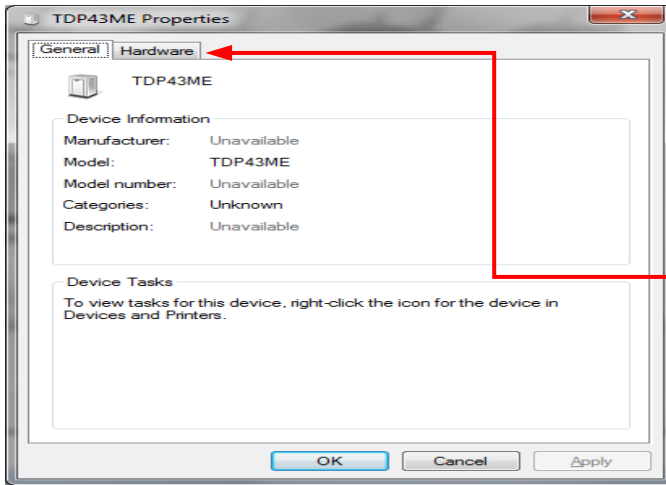
左下の Windows オープをクリックします。「デバイスとプリンター」をクリックします。左側にウィンドウが表示されます。

プリンタが「プリンターと FAX」の行に表示されている場合は、ドライバは正しくインストールされています。

「未指定」行に表示されている場合は、問題があります。おそらくドライバが正しくないか、見つからなかったためです。

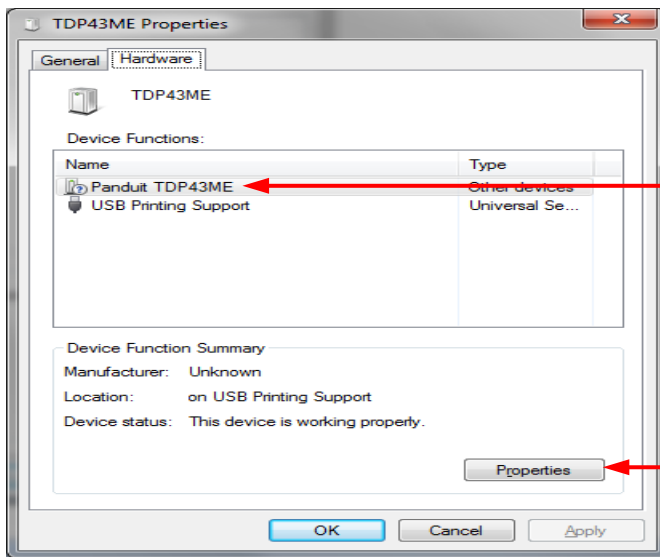


「未指定」行のプリンタを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。



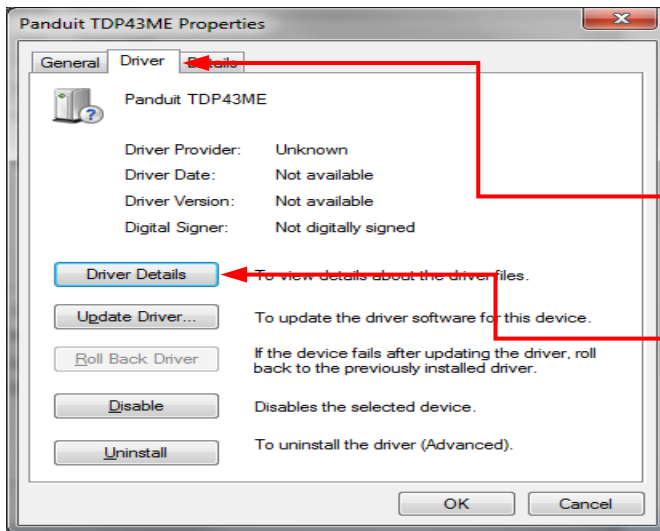
このウィンドウが表示されます。

「ハードウェア」タブをクリックします。



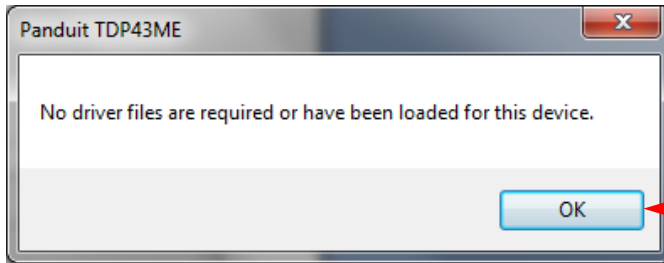
このウィンドウが表示されます。「PANDUIT TDP43ME」を強調表示します。

「プロパティ」ボタンをクリックします。



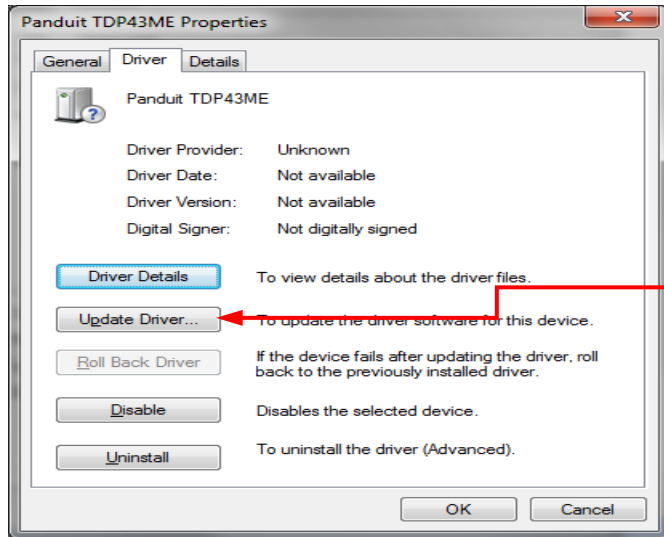
このウィンドウが表示されます。「ドライバー」タブをクリックします。このウィンドウが表示されます。

「ドライバーの詳細」ボタンをクリックします。



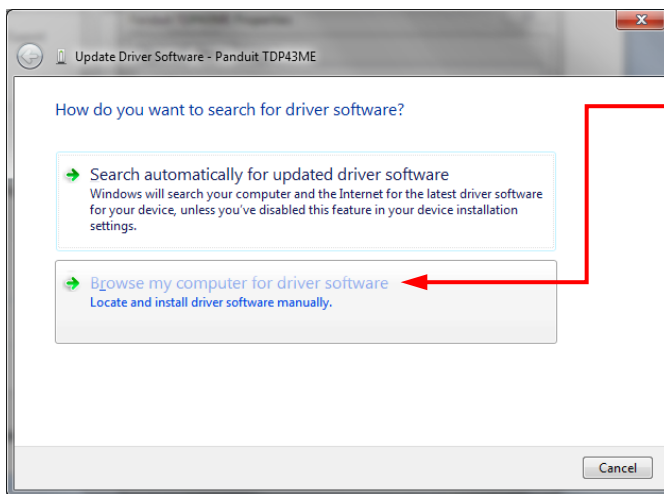
このウィンドウが表示された場合は、TDP43ME プリンタ用ドライバはロードされていません。

「OK」をクリックします。



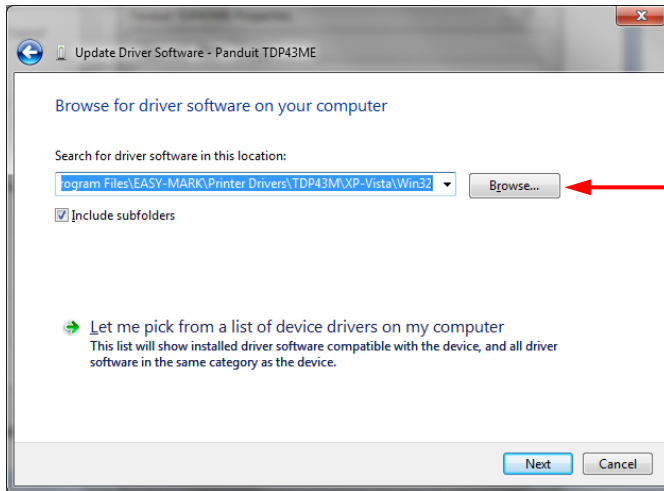
このウィンドウが表示されます。

「ドライバーの更新」ボタンをクリックします。

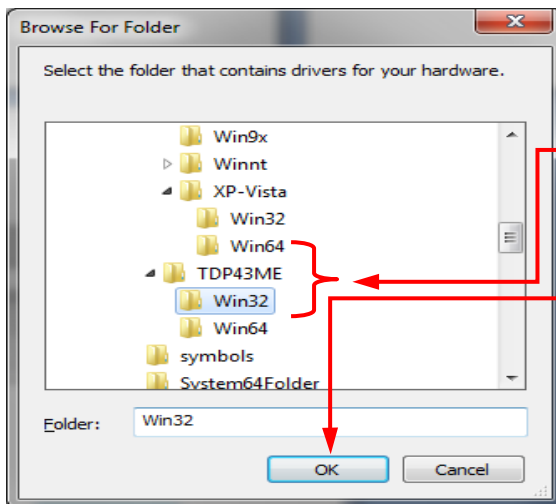


このウィンドウが表示されます。「ドライバーソフトウェアを手動で検索してインストールします。」をクリックします。

インストールしているユーザーは、用意された Easy-Mark Plus™ ディスク、または既知のドライバの場所を指定する必要があります。

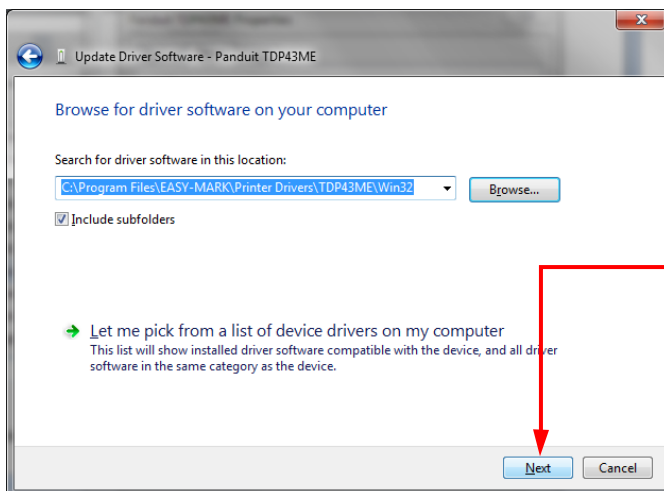


「参照」をクリックして、ドライバのフォルダ (C:\Program Files (x86)\Panduit Easy-Mark Plus\PrinterDrivers\TDP43ME 内か、プリンタキットの付属 CD 内)を探します。



ドライバは、コンピュータのオペレーティングシステムに応じて、32ビットか64ビットを指定する必要があります。

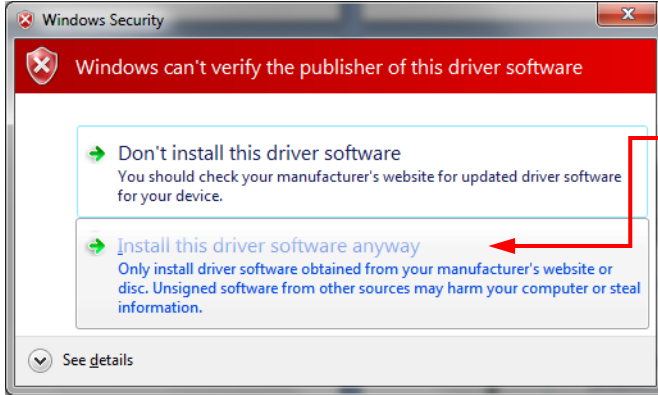
正しいシステムを強調表示して、「OK」をクリックします。



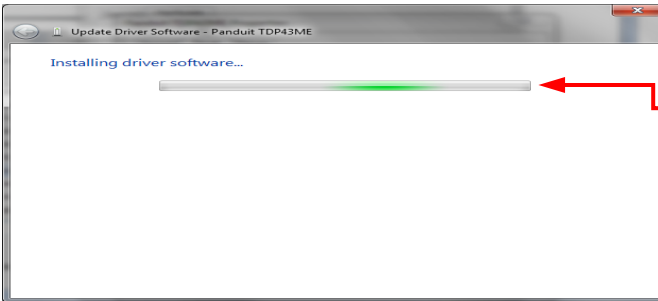
このウィンドウが再び表示されます。

「次へ」をクリックします。

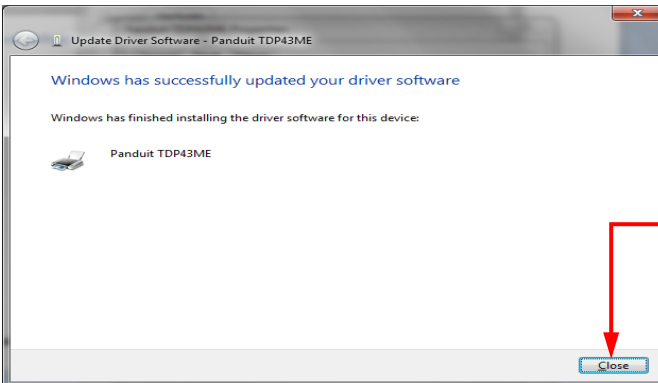




いずれかの時点でこのウィンドウが表示された場合は、「このドライバーソフトウェアをインストールします」をクリックします。

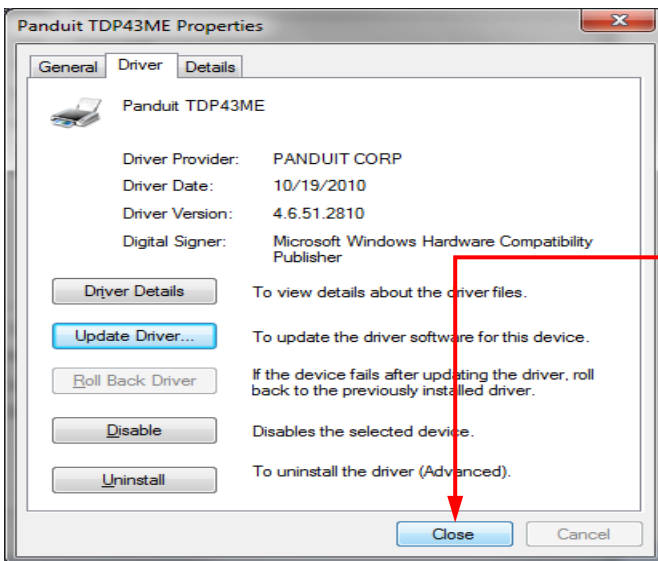


このウィンドウは、新しいドライバがインストール中であることを示します。

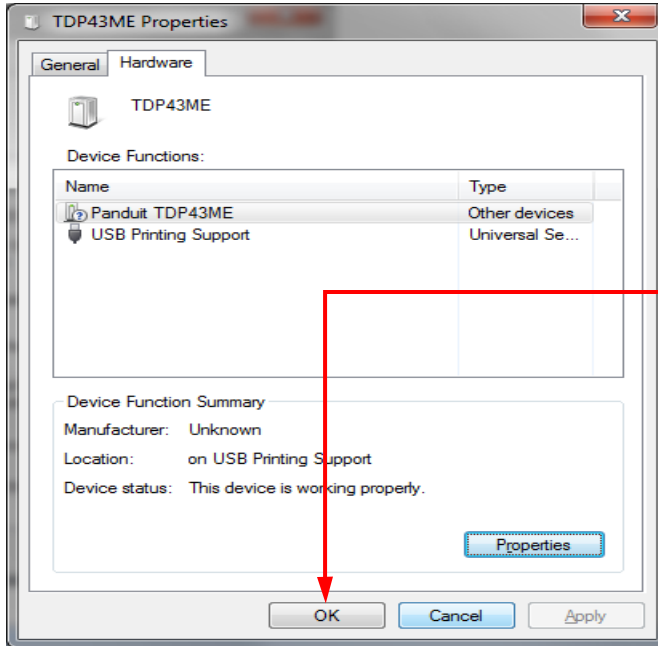


このウィンドウは、新しいドライバが正しくインストールされたことを示します。

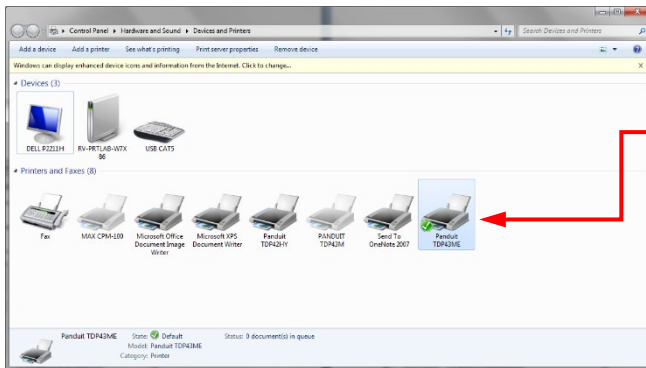
「閉じる」をクリックします。



「閉じる」をクリックします。



「OK」をクリックします。



このウィンドウは、新しいドライバがインストールされ、プリンタを使用できる準備が整っていることを示します。

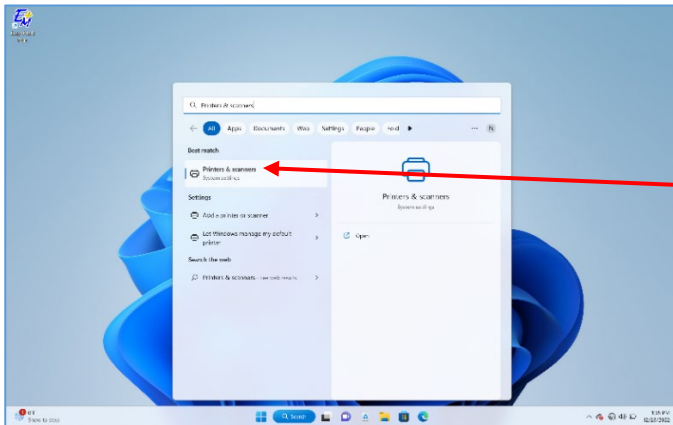
**プリンタをイーサネットポートに接続する場合(Win11):**

Windows 11 で、イーサネットポート接続用の TDP43ME プリンタドライバをインストールするには、3 つの基本手順を行います。以下の手順になります。

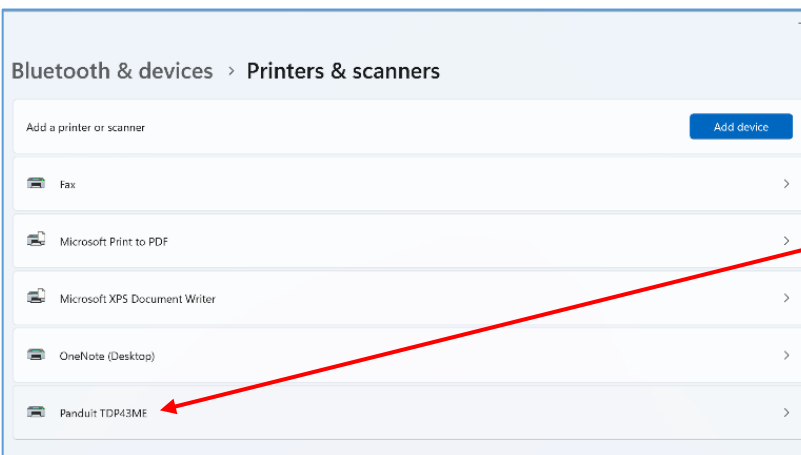
1. USB ポートにプリンタを接続して、プリンタ内部回路をイーサネットポート有効に変更します。
2. プリンタがコンピュータとの通信に使用する IP アドレスを取得します。NetPS Control Center ソフトウェアを使用すると、選択したプリンタの IP アドレスを特定できます。
3. ポートを追加し、上記の手順で見つかった IP アドレスを使用し、「プリンターとスキャナー」でそのアドレスを選択することにより、ポートの選択を TCP/IP ポートに変更します。

### 手順 1. 内部回路の変更

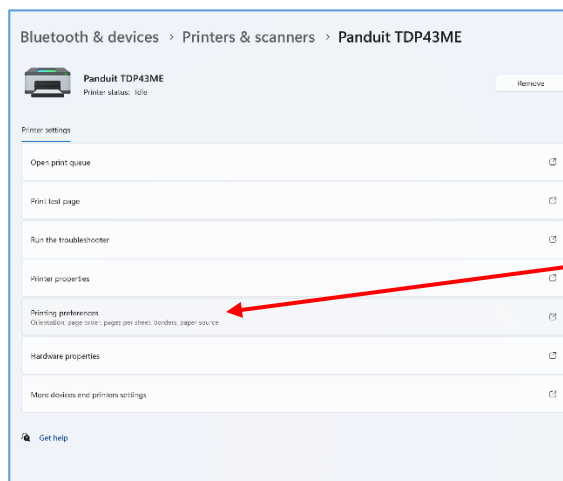
以下の手順は、インストールユーザーに内部ポート回路の変更方法を説明します。



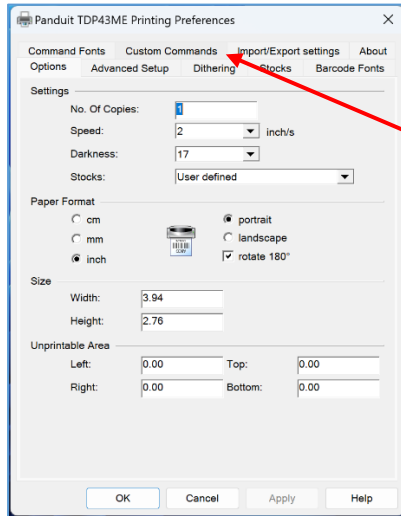
検索メニューで「プリンターとスキャナー」と入力し、ハイライトされたオプションをクリックします。



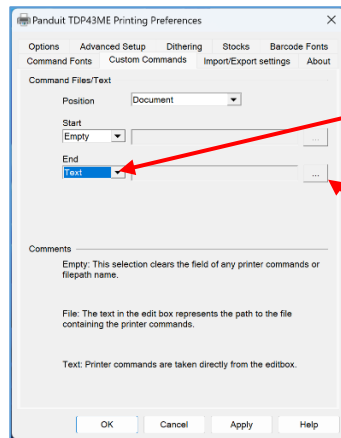
「Panduit TDP43ME」をクリックします。



「印刷設定」行をクリックします。

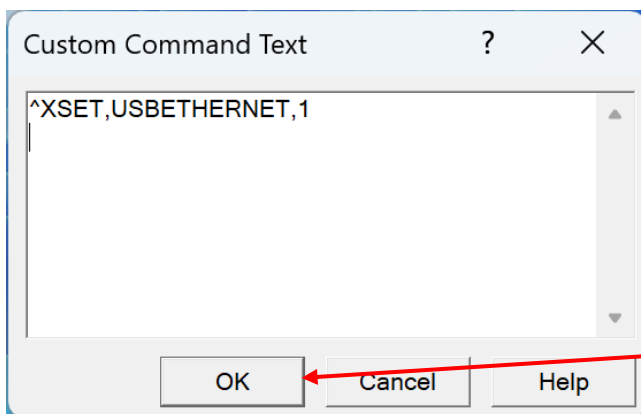


「印刷設定」ウィンドウで、「カスタムコマンド」タブをクリックします。



「カスタムコマンド」ウィンドウで、「末尾」の下向き矢印をクリックして、「テキスト」を選択します。

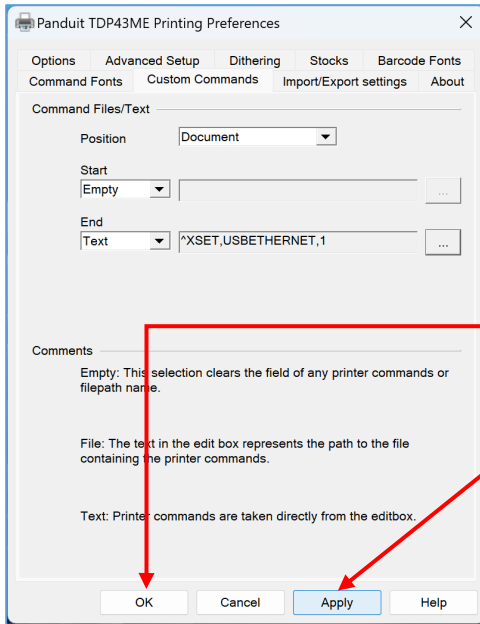
省略記号(3つのドット)ボタンをクリックすると、次のウィンドウが表示されます。



このウィンドウで、「^XSET,USBETHERNET,1」と入力し、**改行**を続けます。

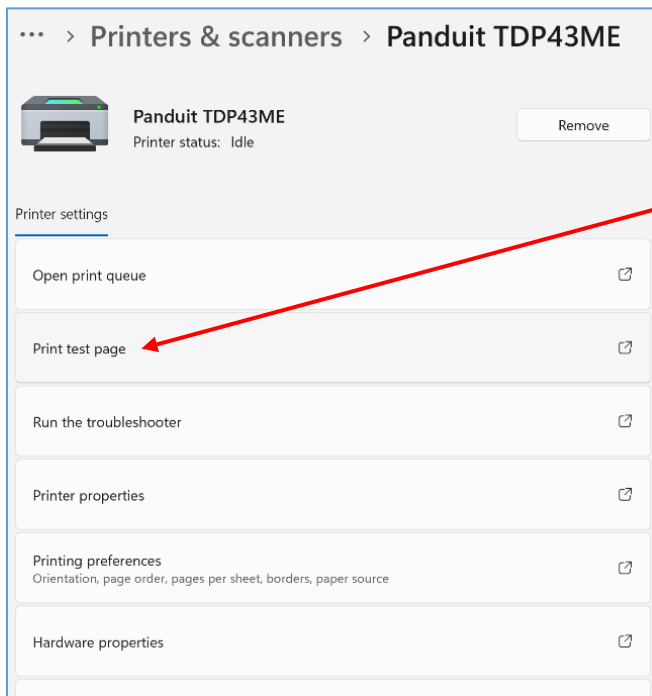
このコマンドのように、大文字、スペースなし、引用符なしなど、正確に入力します。  
「^」は Shift+6 キーです。

「Enter」キーを押して、「OK」をクリックします。この操作により、次の印刷ジョブの送信後に、プリンタ内のリレーがイーサネット有効に切り替わります。



「適用」と「OK」をクリックし、このウィンドウを閉じます。

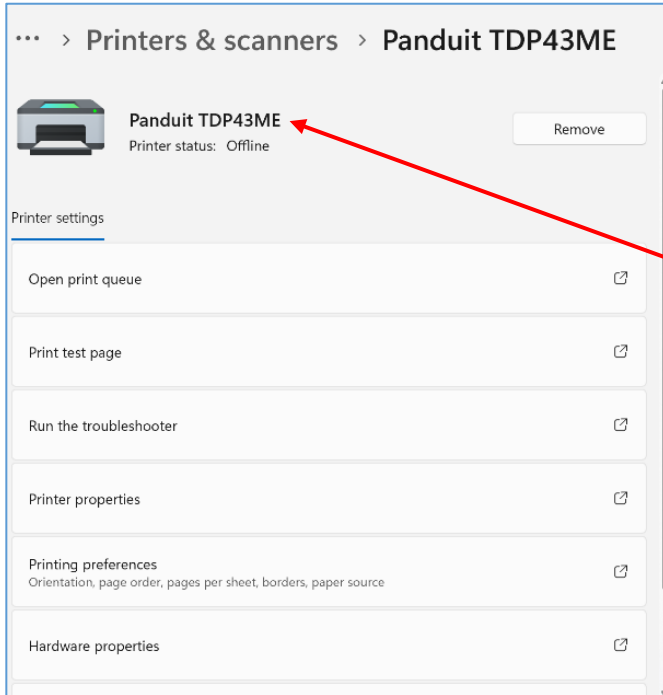
**これで、内部回路がイーサネットポート有効に設定されました。**



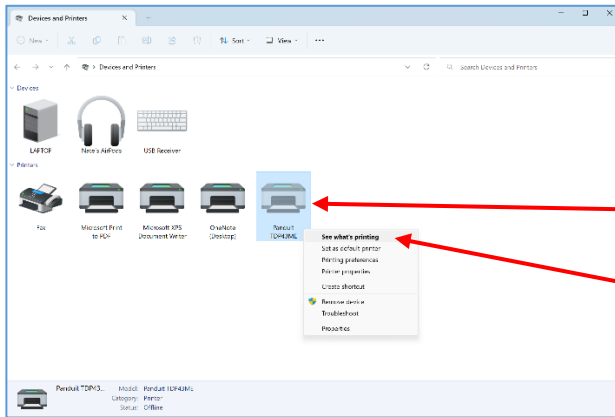
次に、カスタムコマンドを有効にするために、プリンタで何かを印刷する必要があります。

「TDP43ME」ウィンドウで、「テストページの印刷」をクリックします。

テストページが印刷されます。プリンタは前の手順で、次の印刷コマンドの送信終了時にイーサネットポートを有効に切り替えるように設定されました。テストページの印刷が終わると、プリンタ内部のリレーがイーサネットポートを有効にするように切り替わります。*[あるポートから別のポートに切り替わる場合に、かすかなクリック音が聞こえる場合があります。]*プリンタが赤色に点灯していてもかまいません。プリンタの電源を切って入れ直すだけです。



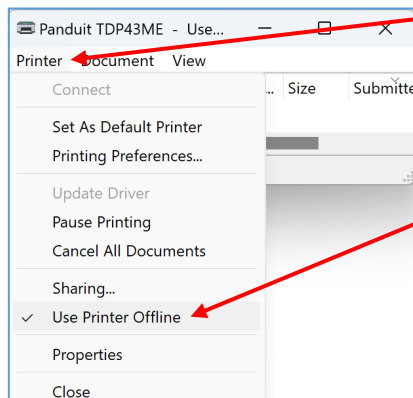
プリンタがオフラインの場合は、Panduit TDP43ME の下の注にその旨が表示されます。



検索バーから「デバイスとプリンター」に移動します。

Panduit TDP43ME を右クリックします。

「印刷ジョブの表示」をクリックします。

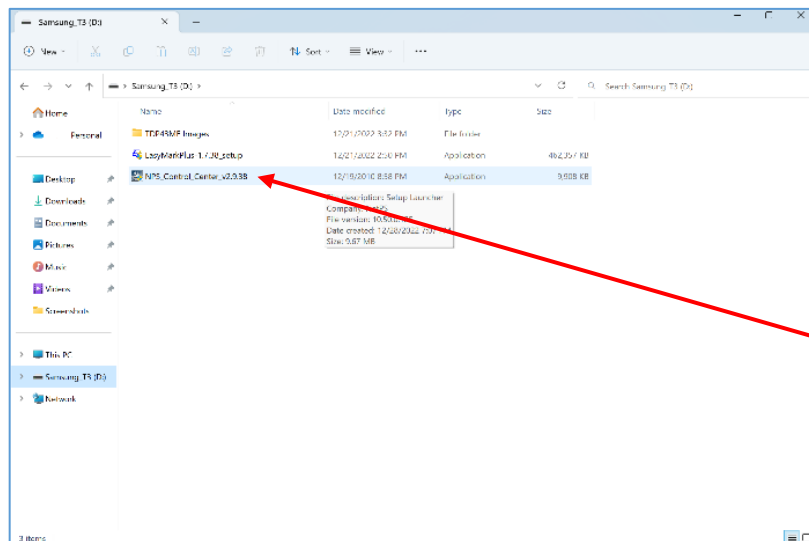


印刷キューが開いたら、左上の「プリンター」をクリックします。

「プリンターをオフラインで使用する」をクリックしてチェックマークを外します。チェックマークを外すと、プリンタはオンラインまたは準備完了に設定されます。

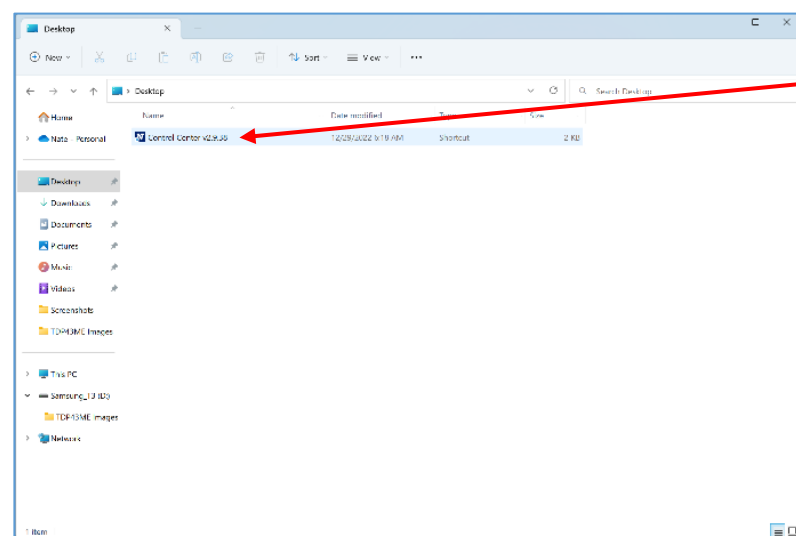
これで注からオフラインの記述がなくなります。何も記されていないければ、オンラインになっており、次の手順に進めます。

### 手順 2. プリンタ用の IP アドレスの取得:



プリンタキットに付属の CD に収録されている Control Center ソフトウェアを開いてインストールするか、または Panduit.com からダウンロードします。

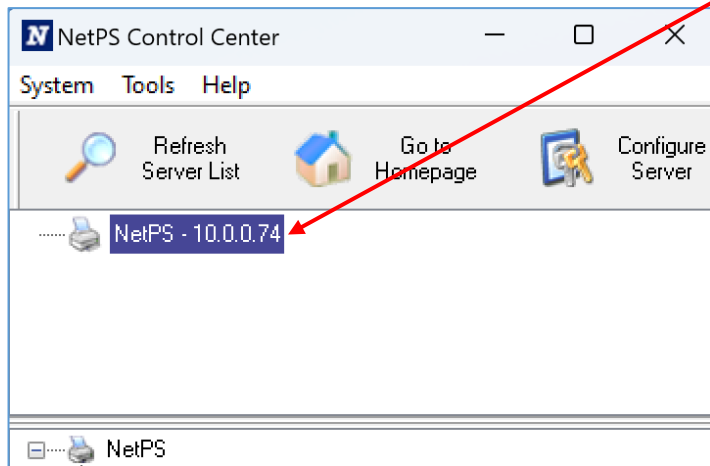
ダウンロードしたファイルを開いて NPS Control Center をインストールします。



NPS Control Center アイコンをダブルクリックしてソフトウェアを起動します。

プリンタのイーサネットポートを覆っているラベルを取り去ります。

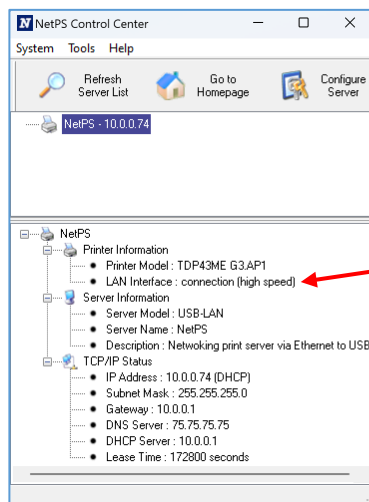
イーサネットケーブルをネットワークコネクタに差し込みます。



CONTROL CENTERソフトウェアを開き、ソフトウェアが開いたときに表示されるNetPS アドレスを書き留めます。  
**(イーサネットケーブルがプリンタに接続している必要があります)。**

**注:**

アドレスが NetPS の横に表示されない場合は、イーサネットケーブルが有効でないか、イーサネットケーブルが差し込まれていないまたは有効ではないか、DHCP が IP アドレスを提供していません。数値/アドレスが NetPS の横に表示されていることが**必要です**。このような状況のいずれかに当てはまる場合は、Control Center ソフトウェアを再起動する必要があります。



NetPS の横に IP アドレスが表示されていれば、この数値を書き留めます。静的 IP アドレスを使用しない場合は、手順 3 に進みます。

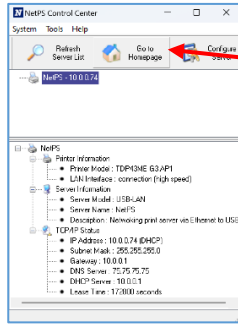
どのポートが有効になっているかは、次のように簡単に確認できます。

IP アドレスをクリックして強調表示します。下のステータスボックスに情報が表示されます。プリンタモデルの行の下に、LAN インターフェイスのステータス行があります。行に「DISCONNECTION」と表示されている場合は、USB ポートが有効になっています。行に「HIGH SPEED」と表示されている場合は、イーサネットポートが有効になっています。

DHCP は、イーサネットポートにデバイスが接続されると、サーバーから自動的に IP アドレスを割り当てるシステムです。このシステムの他のオプションは、静的 IP アドレスを手動で設定するというものです。それぞれのシステムには一長一短があります。DHCP アドレスは、この IP アドレスの時間限定「リース」です。この IP アドレスは、いずれは回収され、接続したデバイスは正しく機能できなくなる可能性があります。これに代わる方法が、静的 IP アドレスを手動で割り当てるというものです。これは、定まったシステムでは有効ですが IT またはコンピュータ担当者の入力が必要になります。静的 IP アドレスを使用する場合、次の手順を使用して、このアドレスをプリンタ用に設定します。

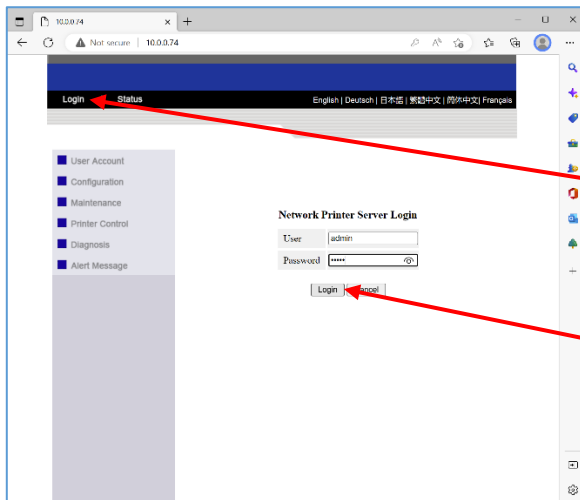


静的 IP の設定手順:



「Go to Homepage」をクリックします。

この操作により、このプリンタに関連付けられた内部 Web ページが開きます。

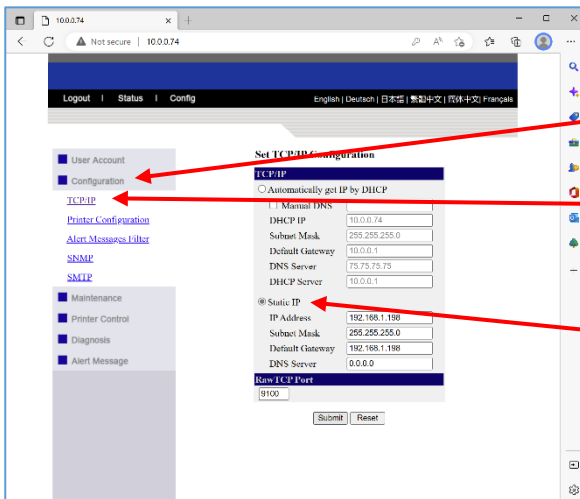


Web ページが開きます。

「Login」ボタンをクリックします。

ユーザーとパスワードは *admin* および *admin* (どちらも小文字) です。

「Login」ボタンをクリックします。

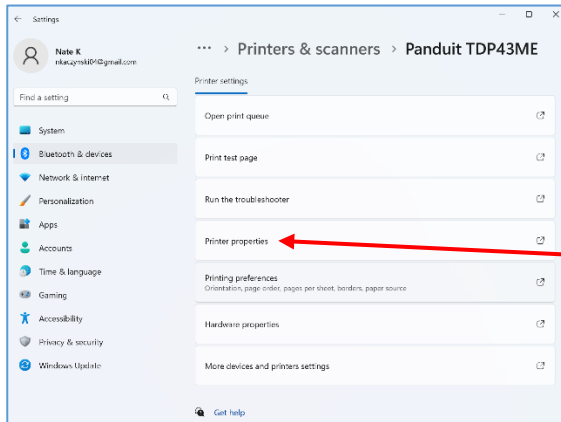


「Configuration」ボタンをクリックします。

「TCP/IP」をクリックします。これにより、右側にページが表示されます。

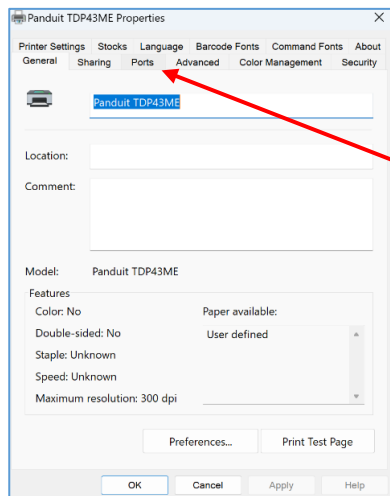
「STATIC IP」をクリックし、IT またはネットワーク管理者から与えられた情報を入力します。

### 手順 3.IP アドレスへのポート選択の変更:

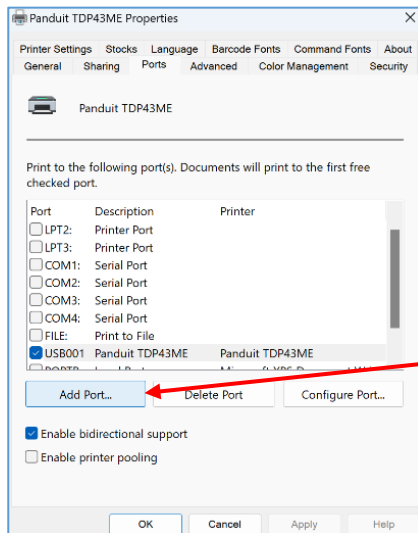


実際の IP アドレスを入力したら、「プリンターとスキャナー」ウィンドウの Panduit TDP43ME をもう一度開きます。

「プリンターのプロパティ」行をクリックします。



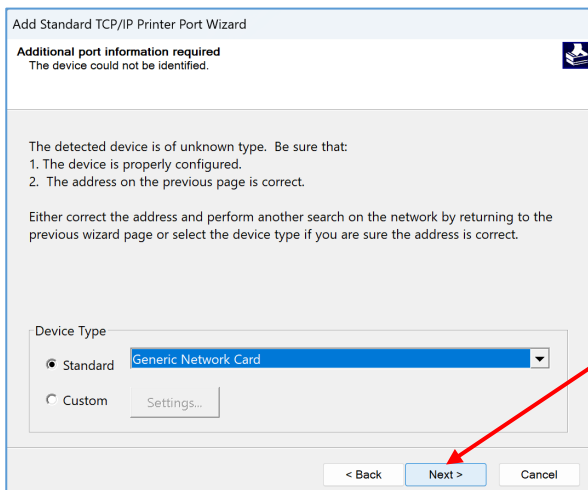
「プリンターのプロパティ」の「ポート」タブをクリックします。



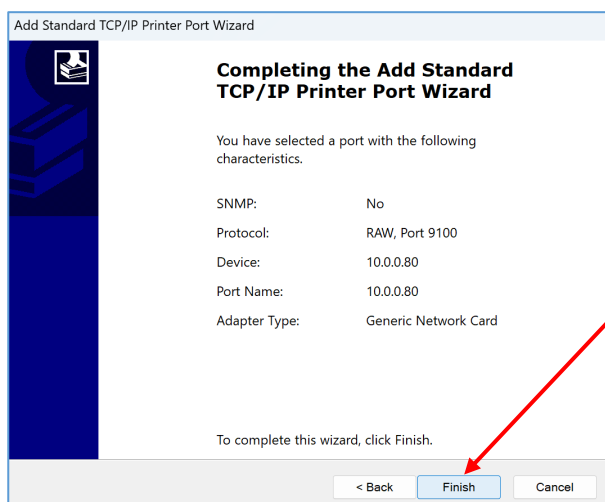
新しいイーサネットポートは、ポート印刷のオプションとして追加する必要があります。

「ポートの追加」ボタンをクリックします。

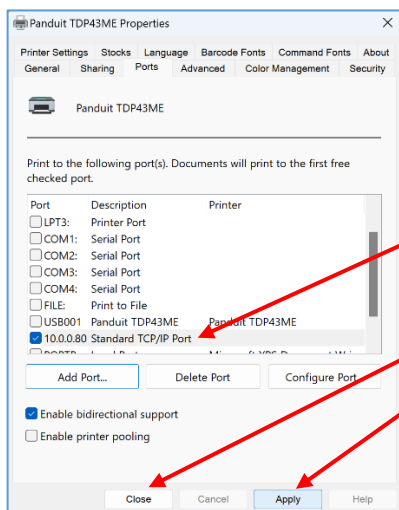
	<p>「Standard TCP/IP Port」をクリックして強調表示します。</p> <p>「新しいポート」ボタンをクリックします。</p>
	<p>「標準 TCP/IP プリンターポートの追加ウィザード」ウィンドウが開きます。</p> <p>「次へ」をクリックします。</p>
	<p>Control Center ソフトウェアの NetPS 行から書き留めた IP アドレスを入力します。</p> <p><u>または、このプリンタに静的 IP アドレスを使用している場合は、これを入力します。</u>（「ポート名」行は自動的に入力されます）。</p> <p>「次へ」をクリックします。</p>



「次へ」をクリックします。



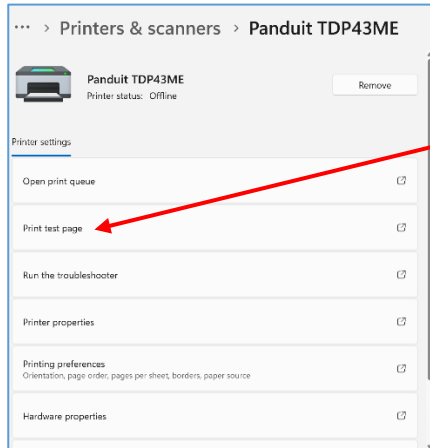
「完了」をクリックします。



新しいポートにチェックマークが付けられています。

「適用」をクリックし、続いて「閉じる」または「OK」をクリックします。

これでイーサネットポートが有効になり、プリンタのポートとして設定されました。



「テストページの印刷」ボタンをクリックして、このプリンタに出力します。テストページが印刷されます。

これでプリンタは、イーサネットポート印刷に設定されました。

すべてのウィンドウを閉じ、USB ケーブルを抜きます。

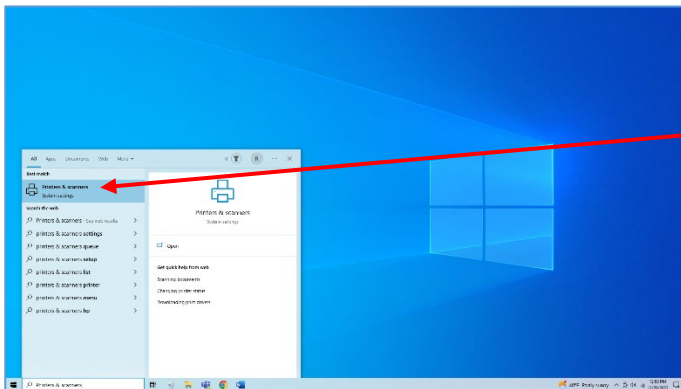
### プリンタをイーサネットポートに接続する場合(Win10):

Windows 10 で、イーサネットポート接続用の TDP43ME プリンタドライバをインストールするには、3つの基本手順を行います。以下の手順になります。

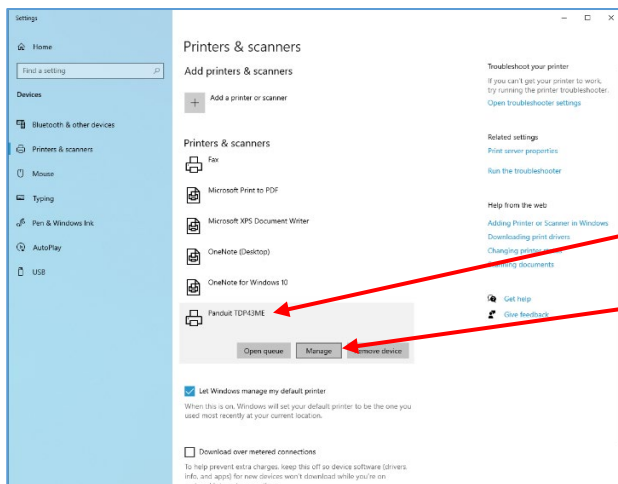
1. USB ポートにプリンタを接続して、プリンタ内部回路をイーサネットポート有効に変更します。
2. プリンタがコンピュータとの通信に使用する IP アドレスを取得します。NetPS Control Center ソフトウェアを使用すると、選択したプリンタの IP アドレスを特定できます。
3. ポートを追加し、上記の手順で見つかった IP アドレスを使用し、「プリンターとスキャナー」でそのアドレスを選択することにより、ポートの選択を TCP/IP ポートに変更します。

### 手順 1. 内部回路の変更

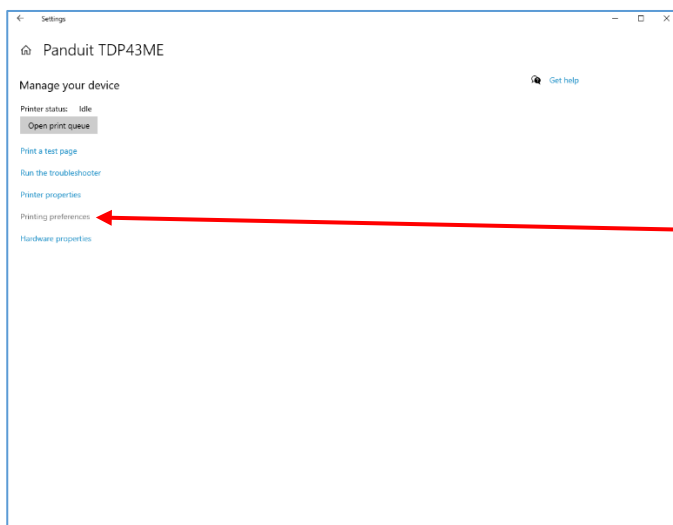
以下の手順は、インストールユーザーに内部ポート回路の変更方法を説明します。



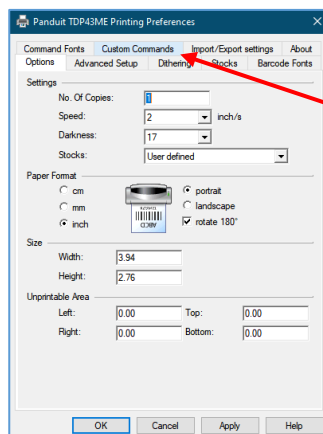
検索メニューで「プリンターとスキャナー」と入力し、ハイライトされたオプションをクリックします。



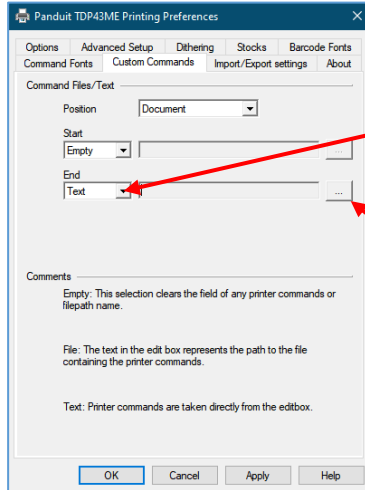
「Panduit TDP43ME」をクリックし、「管理 (Manage)」をクリックします



「印刷設定」行をクリックします。

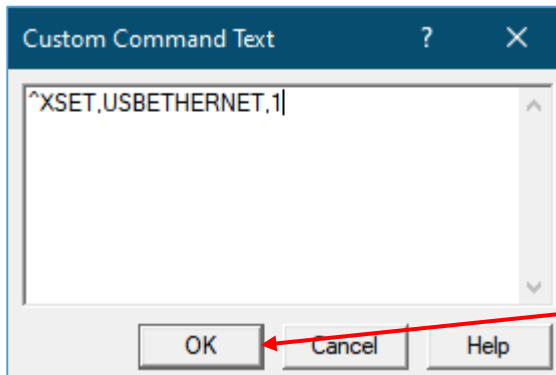


「印刷設定」ウィンドウで、「カスタムコマンド」タブをクリックします。



「カスタムコマンド」ウィンドウで、「末尾」の下向き矢印をクリックして、「テキスト」を選択します。

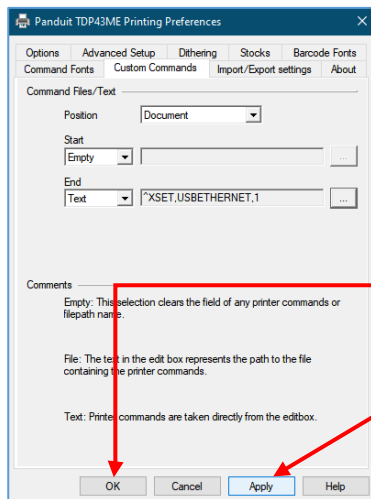
省略記号(3つのドット)ボタンをクリックすると、次のウィンドウが表示されます。



このウィンドウで、「^XSET,USBETHERNET,1」と入力し、**改行**を続けます。

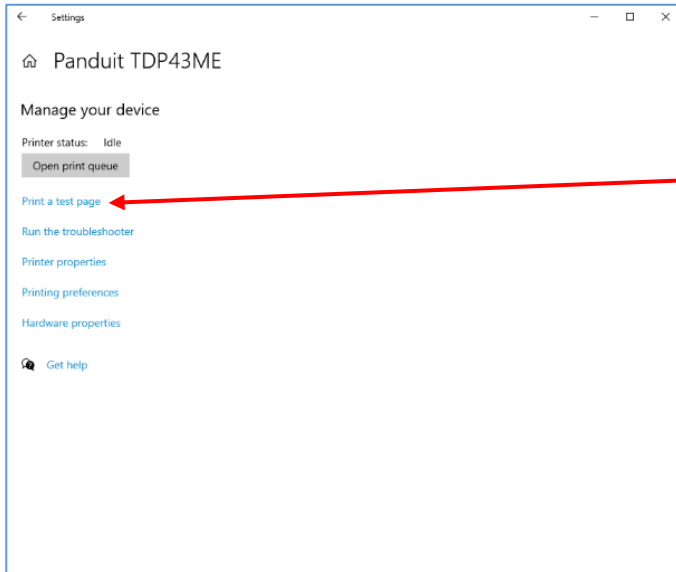
このコマンドのように、大文字、スペースなし、引用符なしなど、正確に入力します。「^」は Shift+6 キーです。

「Enter」キーを押して、「OK」をクリックします。この操作により、次の印刷ジョブの送信後に、プリンタ内のリレーがイーサネット有効に切り替わります。



「適用」と「OK」をクリックし、このウィンドウを閉じます。

**これで、内部回路がイーサネットポート有効に設定されました。**

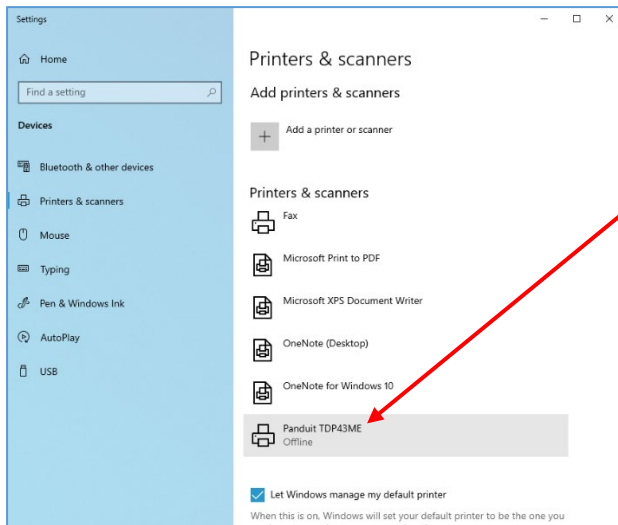


次に、カスタムコマンドを有効にするために、プリンタで何かを印刷する必要があります。

「TDP43ME」ウィンドウで、テストするプリンタをクリックします。

「テストページの印刷」をクリックします。

テストページが印刷されます。プリンタは前の手順で、次の印刷コマンドの送信終了時にイーサネットポートを有効に切り替えるように設定されました。テストページの印刷が終わると、プリンタ内部のリレーがイーサネットポートを有効にするように切り替わります。*[あるポートから別のポートに切り替わるときに、かすかなクリック音が聞こえる場合があります。]*プリンタが赤色に点灯していてもかまいません。プリンタの電源を切って入れ直すだけです。

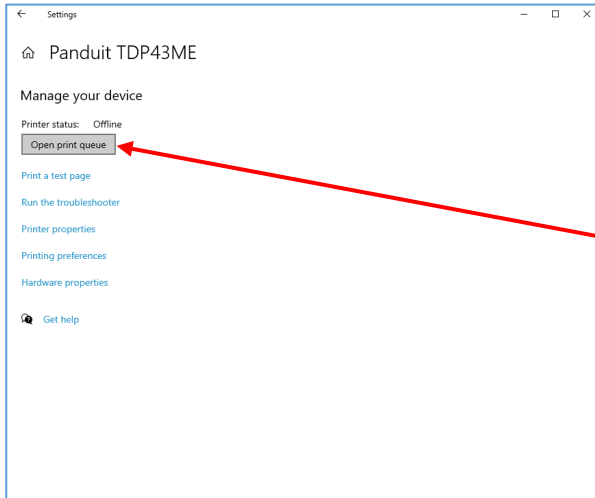


プリンタがオフラインの場合は、Panduit TDP43ME の下の注にその旨が表示されます。

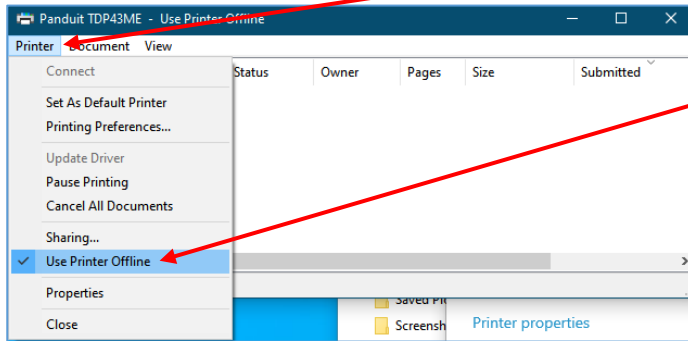
プリンタがオフラインの場合は、次の手順を実行します。

「Panduit TDP43ME」をクリックします。





「印刷キューを開く」をクリックします。

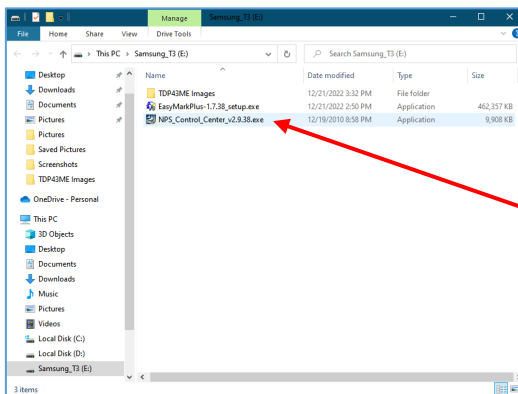


印刷キューが開いたら、左上の「プリンター」をクリックします。

「プリンターをオフラインで使用する」をクリックしてチェックマークを外します。チェックマークを外すと、プリンターはオンラインまたは準備完了に設定されます。

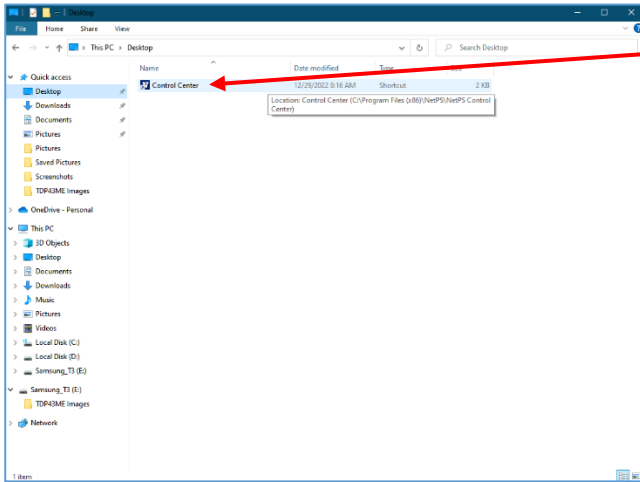
これで注からオフラインの記述がなくなります。何も記されていないければ、オンラインになっており、次の手順に進めます。

### 手順 2. プリンタ用の IP アドレスの取得:



プリンタキットに付属の CD に収録されている Control Center ソフトウェアを開いてインストールするか、または Panduit.com からダウンロードします。

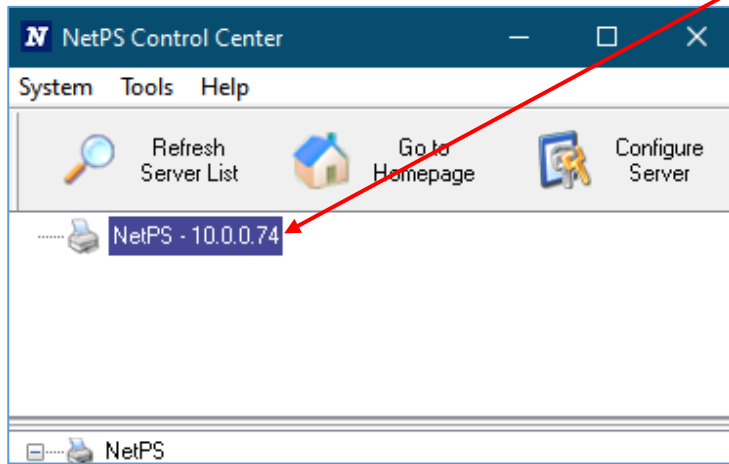
ダウンロードしたファイルを開いて NPS Control Center をインストールします。



NPS Control Center アイコンをダブルクリックしてソフトウェアを起動します。

プリンタのイーサネットポートを覆っているラベルを取り去ります。

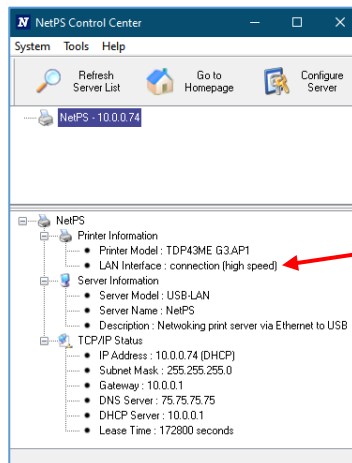
イーサネットケーブルをネットワークコネクタに差し込みます。



CONTROL CENTER ソフトウェアを開き、ソフトウェアが開いたときに表示される NetPS アドレスを書き留めます。  
(イーサネットケーブルがプリンタに接続している必要があります)。

**注:**

アドレスが NetPS の横に表示されない場合は、イーサネットケーブルが有効でないか、イーサネットケーブルが差し込まれていないまたは有効ではないか、DHCP が IP アドレスを提供していません。数値/アドレスが NetPS の横に表示されていることが**必要です**。このような状況のいずれかに当てはまる場合は、Control Center ソフトウェアを再起動する必要があります。

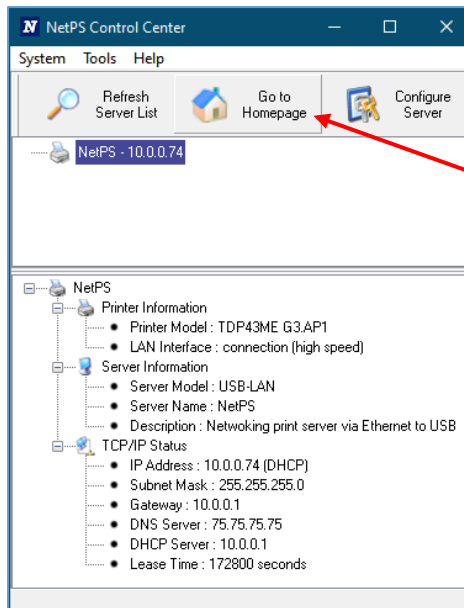


NetPS の横に IP アドレスが表示されていれば、この数値を書き留めます。静的 IP アドレスを使用しない場合は、手順 3 に進みます。

どのポートが有効になっているかは、次のように簡単に確認できます。

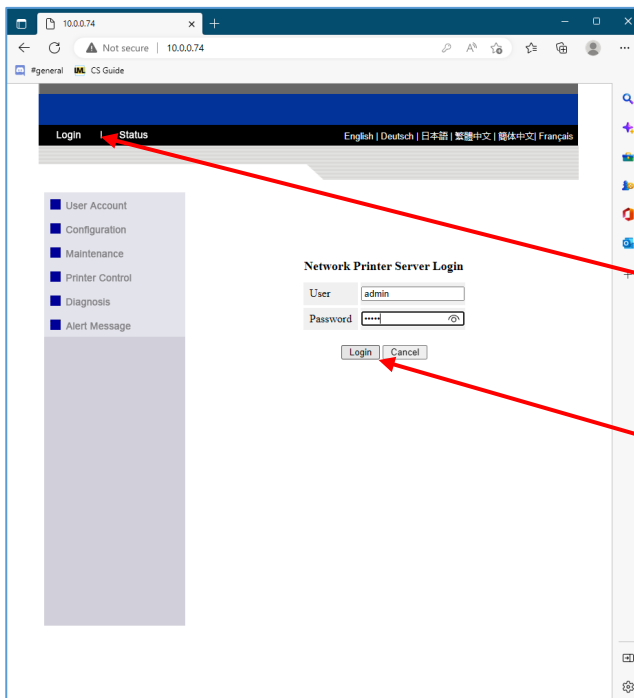
IP アドレスをクリックして強調表示します。下のステータスボックスに情報が表示されます。プリンタモデルの行の下に、LAN インターフェイスのステータス行があります。行に「DISCONNECTION」と表示されている場合は、USB ポートが有効になっています。行に「HIGH SPEED」と表示されている場合は、イーサネットポートが有効になっています。

DHCP は、イーサネットポートにデバイスが接続されると、サーバーから自動的に IP アドレスを割り当てるシステムです。このシステムの他のオプションは、静的 IP アドレスを手動で設定するというものです。それぞれのシステムには一長一短があります。DHCP アドレスは、この IP アドレスの時間限定「リース」です。この IP アドレスは、いずれは回収され、接続したデバイスは正しく機能できなくなる可能性があります。これに代わる方法が、静的 IP アドレスを手動で割り当てるといったものです。これは、定まったシステムでは有効ですが、IT またはコンピュータ担当者の入力が必要になります。静的 IP アドレスを使用する場合、次の手順を使用して、このアドレスをプリンター用に設定します。



「Go to Homepage」をクリックします。

この操作により、このプリンターに関連付けられた内部 Web ページが開きます。

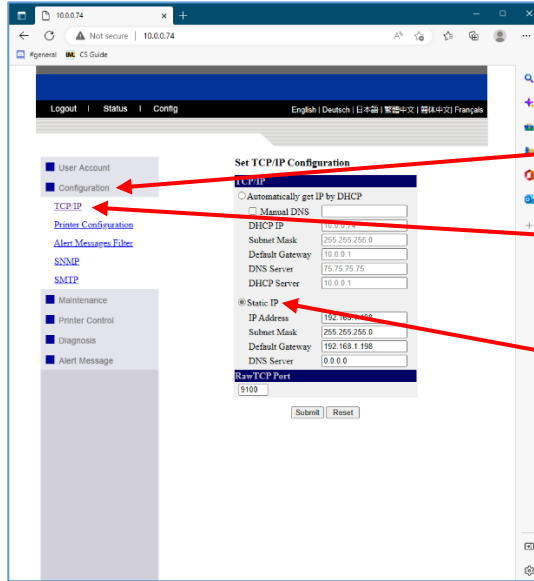


Web ページが開きます。

「Login」ボタンをクリックします。

ユーザーとパスワードは *admin* および *admin* (どちらも小文字) です。

「Login」ボタンをクリックします。

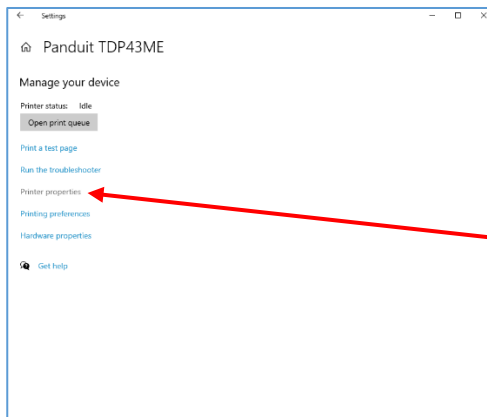


「Configuration」ボタンをクリックします。

「TCP/IP」をクリックします。これにより、右側にページが表示されます。

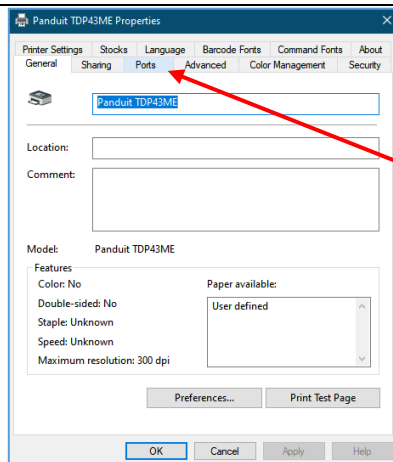
「STATIC IP」をクリックし、IT またはネットワーク管理者から与えられた情報を入力します。

### 手順 3. IP アドレスへのポート選択の変更:

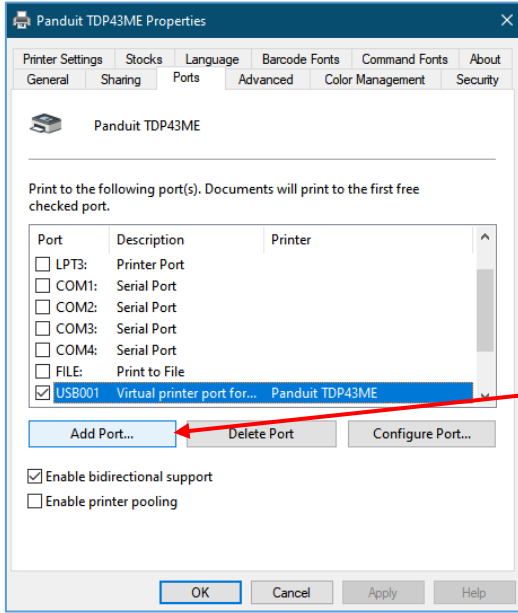


実際の IP アドレスを入力したら、「プリンターとスキャナー」ウィンドウの Panduit TDP43ME をもう一度開きます。

「プリンターのプロパティ」行をクリックします。

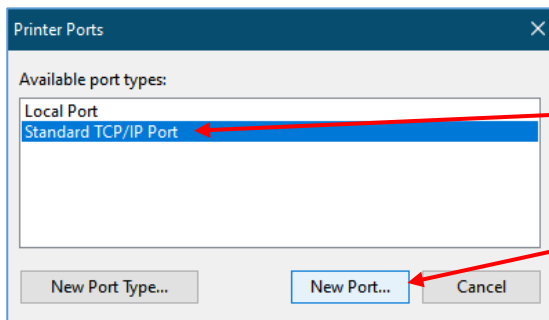


「プリンターのプロパティ」の「ポート」タブをクリックします。



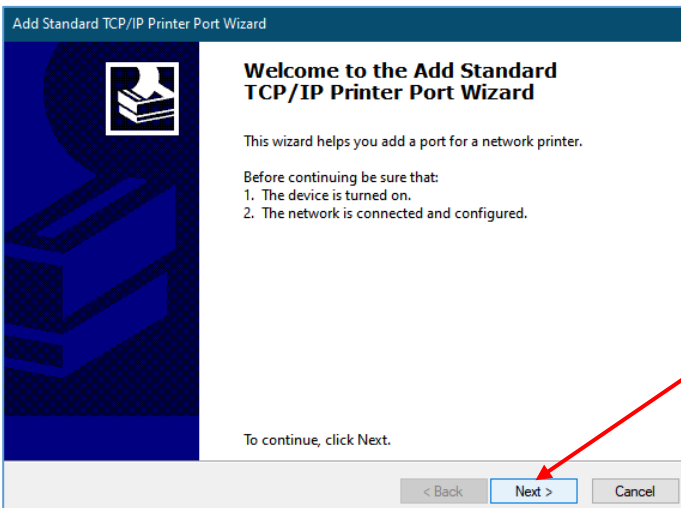
新しいイーサネットポートは、ポート印刷のオプションとして追加する必要があります。

「ポートの追加」ボタンをクリックします。



「Standard TCP/IP Port」をクリックして強調表示します。

「新しいポート」ボタンをクリックします。



「標準 TCP/IP プリンターポートの追加ウィザード」ウィンドウが開きます。

「次へ」をクリックします。



Add Standard TCP/IP Printer Port Wizard

**Add port**  
For which device do you want to add a port?

Enter the Printer Name or IP address, and a port name for the desired device.

Printer Name or IP Address: 10.0.0.80

Port Name: 10.0.0.80

< Back Next > Cancel

Control Center ソフトウェアの NetPS 行から書き留めた IP アドレスを入力します。

または、このプリンタに静的 IP アドレスを使用している場合は、これを入力します。  
(「ポート名」行は自動的に入力されます)。

「次へ」をクリックします。

Add Standard TCP/IP Printer Port Wizard

**Additional port information required**  
The device could not be identified.

The detected device is of unknown type. Be sure that:

1. The device is properly configured.
2. The address on the previous page is correct.

Either correct the address and perform another search on the network by returning to the previous wizard page or select the device type if you are sure the address is correct.

Device Type

Standard Generic Network Card

Custom Settings...

< Back Next > Cancel

「次へ」をクリックします。

Add Standard TCP/IP Printer Port Wizard

**Completing the Add Standard TCP/IP Printer Port Wizard**

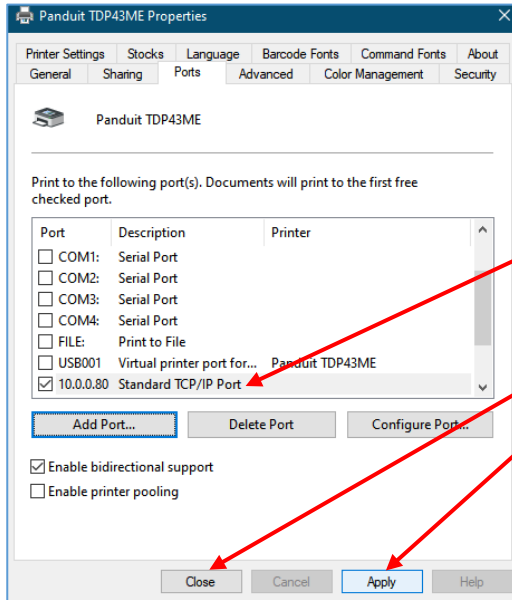
You have selected a port with the following characteristics.

SNMP:	No
Protocol:	RAW, Port 9100
Device:	10.0.0.80
Port Name:	10.0.0.80
Adapter Type:	Generic Network Card

To complete this wizard, click Finish.

< Back Finish Cancel

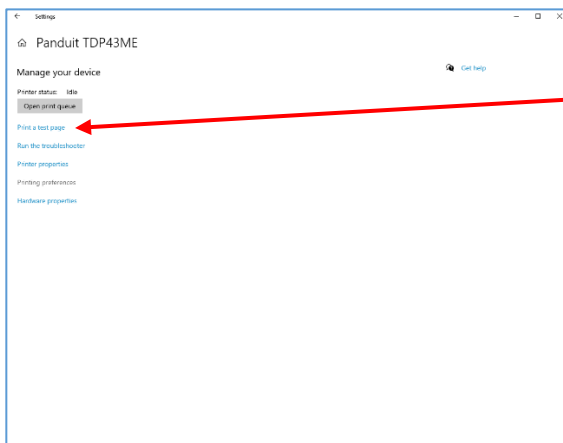
「完了」をクリックします。



新しいポートにチェックマークが付けられています。

「適用」をクリックし、続いて「閉じる」または「OK」をクリックします。

これでイーサネットポートが有効になり、プリンタのポートとして設定されました。



「テストページの印刷」ボタンをクリックして、このプリンタに出力します。テストページが印刷されます。

これでプリンタは、イーサネットポート印刷に設定されました。

すべてのウィンドウを閉じ、USB ケーブルを抜きます。

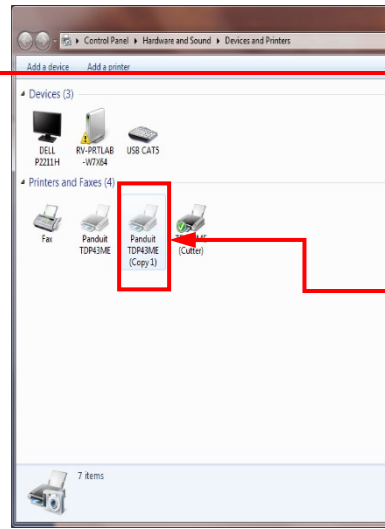
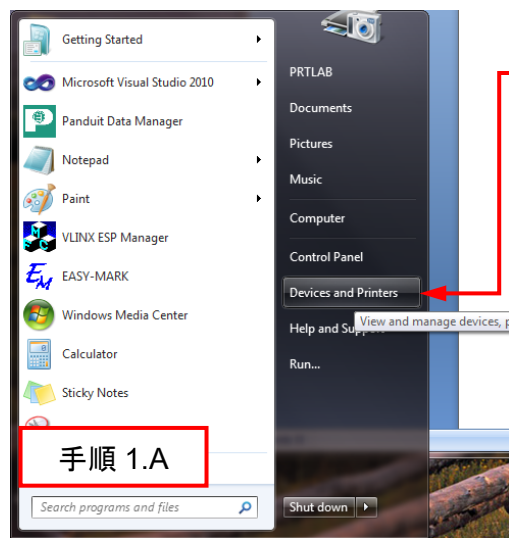
### プリンタをイーサネットポートに接続する場合(Win7):

Windows 7 で、イーサネットポート接続用の TDP43ME プリンタドライバをインストールするには、3 つの基本手順を行います。以下の手順になります。

1. USB ポートにプリンタを接続して、プリンタ内部回路をイーサネットポート有効に変更します。
2. プリンタがコンピュータとの通信に使用する IP アドレスを取得します。NetPS Control Center ソフトウェアを使用すると、選択したプリンタの IP アドレスを特定できます。
3. ポートを追加し、上記の手順で見つかった IP アドレスを使用し、「デバイスとプリンター」でそのアドレスを選択することにより、ポートの選択を TCP/IP ポートに変更します。

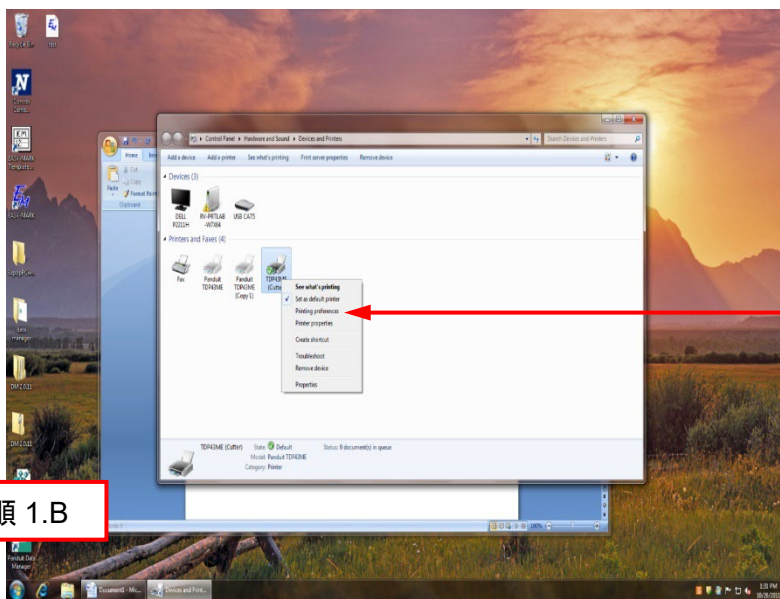
**手順 1.内部回路の変更**

以下の手順は、インストールユーザーに内部ポート回路の変更方法を説明します。



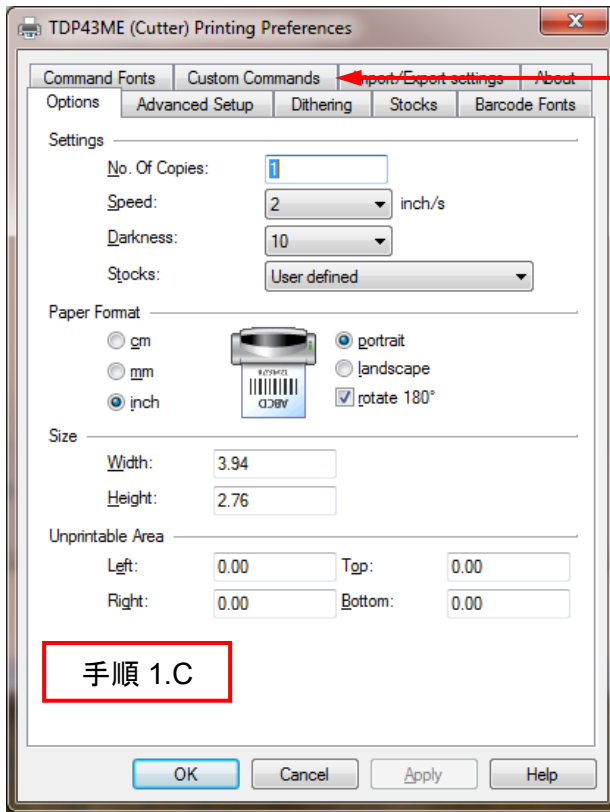
「スタート」メニューで、「デバイスとプリンター」をクリックします。

このコンピュータから制御するプリンタを強調表示して、右クリックします。

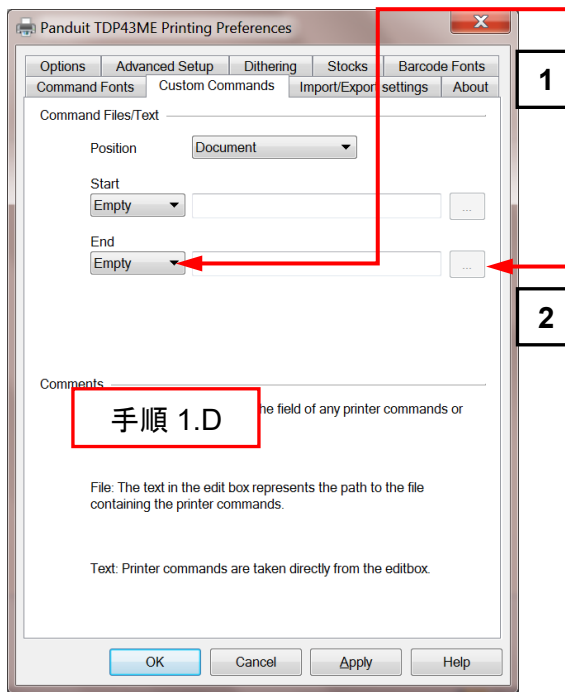


「印刷設定」行をクリックします。





「印刷設定」ウィンドウで、「カスタムコマンド」タブをクリックします。



「カスタムコマンド」ウィンドウで、「末尾」の下向き矢印をクリックして、「テキスト」を選択します。

省略記号(3つのドット)ボタンをクリックすると、次のウィンドウが表示されます。



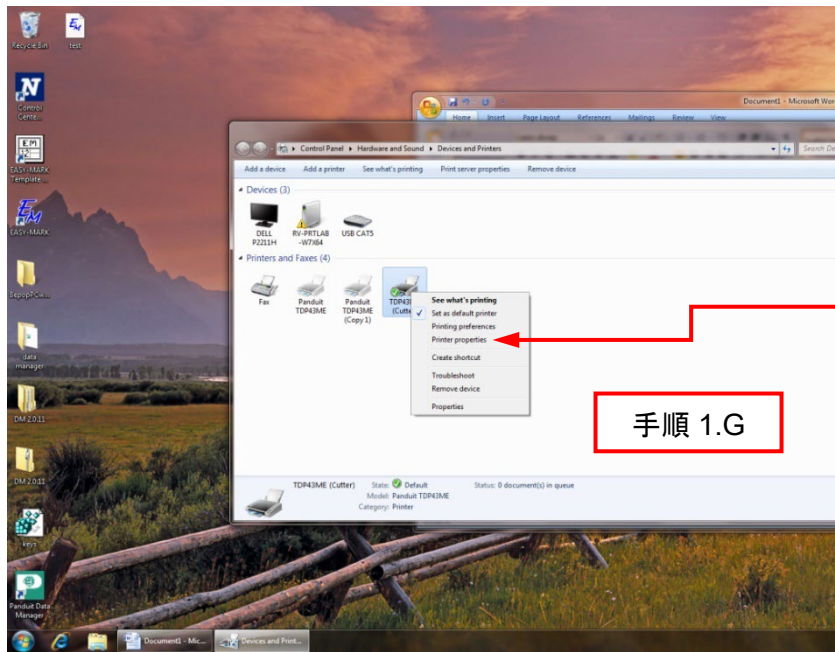
このウィンドウで、「^XSET,USBETHERNET,1」と入力し、**改行**を続けます。このコマンドのように、大文字、スペースなし、引用符なしなど、正確に入力します。「^」は Shift+6 キーです。

「Enter」キーを押して、「OK」をクリックします。この操作により、次の印刷ジョブの送信後に、プリンタ内のリレーがイーサネット有効に切り替わります。



「適用」と「OK」をクリックし、このウィンドウを閉じます。

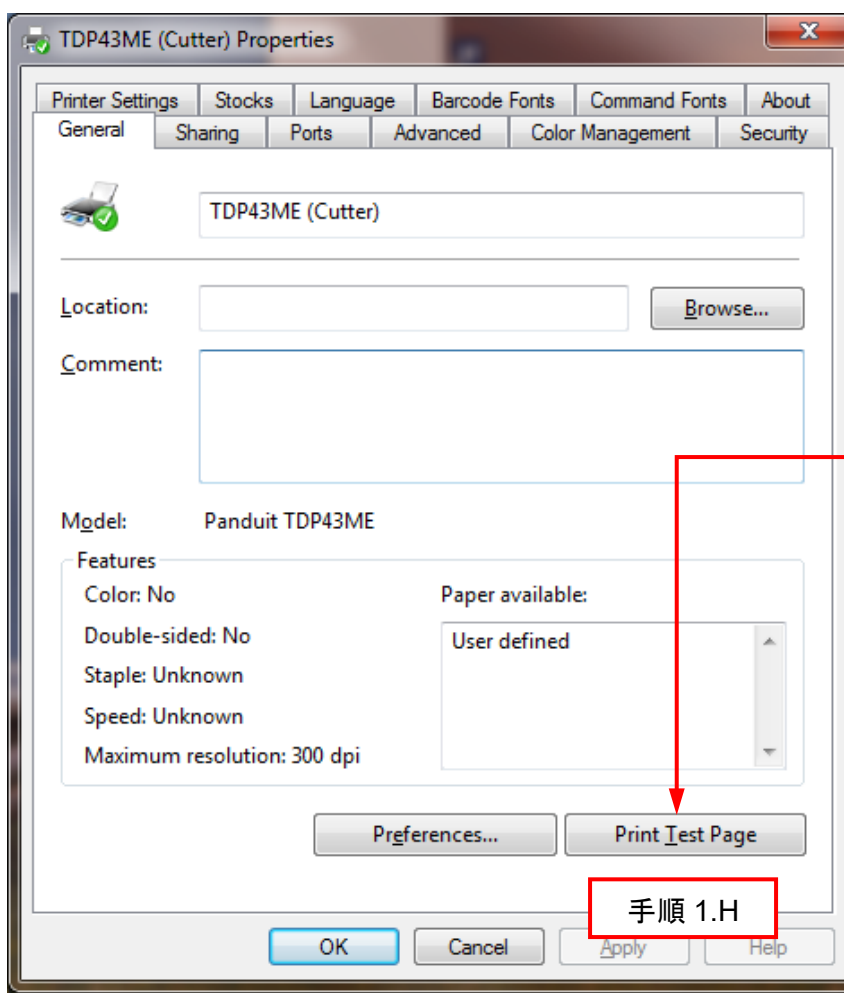
これで、内部回路がイーサネットポート有効に設定されました。



次に、カスタムコマンドを有効にするために、プリンタで何かを印刷する必要があります。

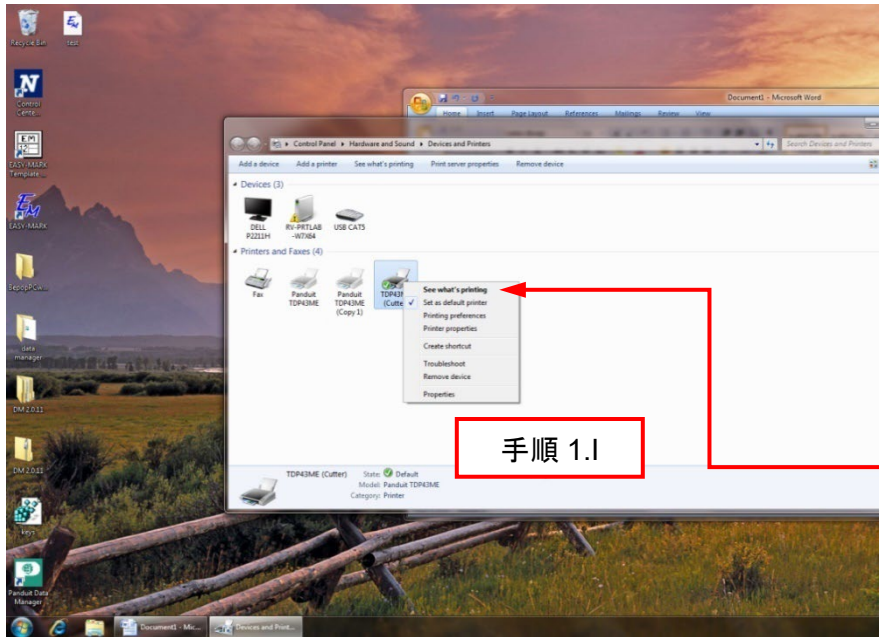
「デバイスとプリンター」ウィンドウで、テストするプリンタを右クリックします。

「印刷プロパティ」を選択します。



「プロパティ」ウィンドウで、「テストページの印刷」をクリックします。

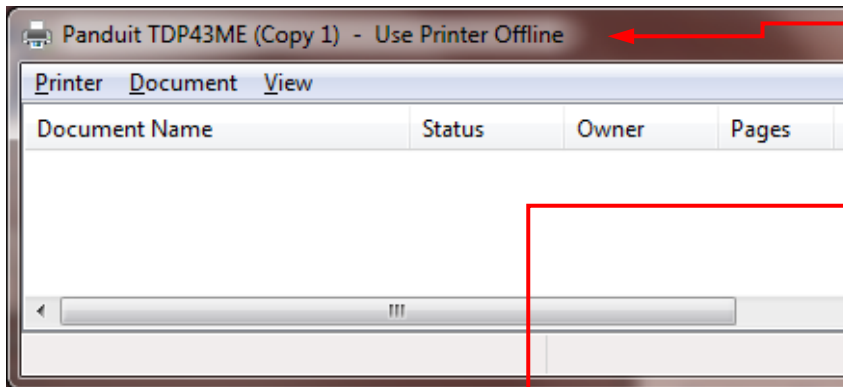
テストページが印刷されます。プリンタは前の手順で、次の印刷コマンドの送信終了時にイーサネットポートを有効に切り替えるように設定されました。テストページの印刷が終わると、プリンタ内部のリレーがイーサネットポートを有効にするように切り替わります。[あるポートから別のポートに切り替わるときに、かすかなクリック音が聞こえる場合があります。]プリンタが赤色に点灯していてもかまいません。プリンタの電源を切って入れ直すだけです。



USBポートが無効になると、おそらくプリンタはオフラインになっています。

プリンタがオフラインになっているかどうかを判断するには、使用するプリンタを右クリックします。

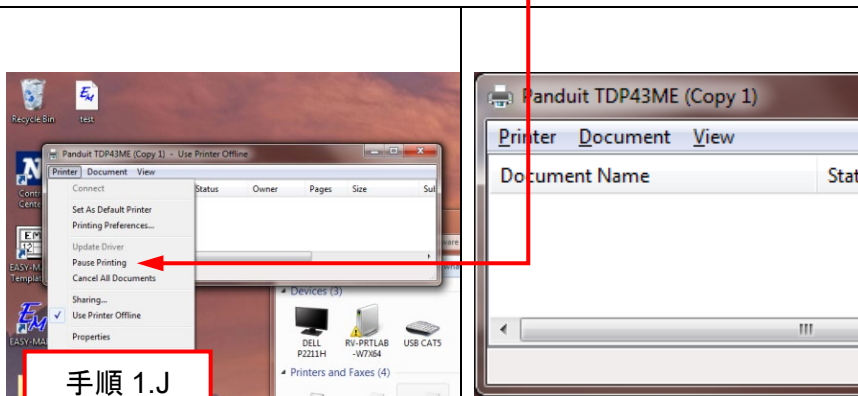
「印刷ジョブの表示」をクリックします。



ウィンドウの最上部にある見出しに、プリンタがオフラインになっているかどうかが表示されます。

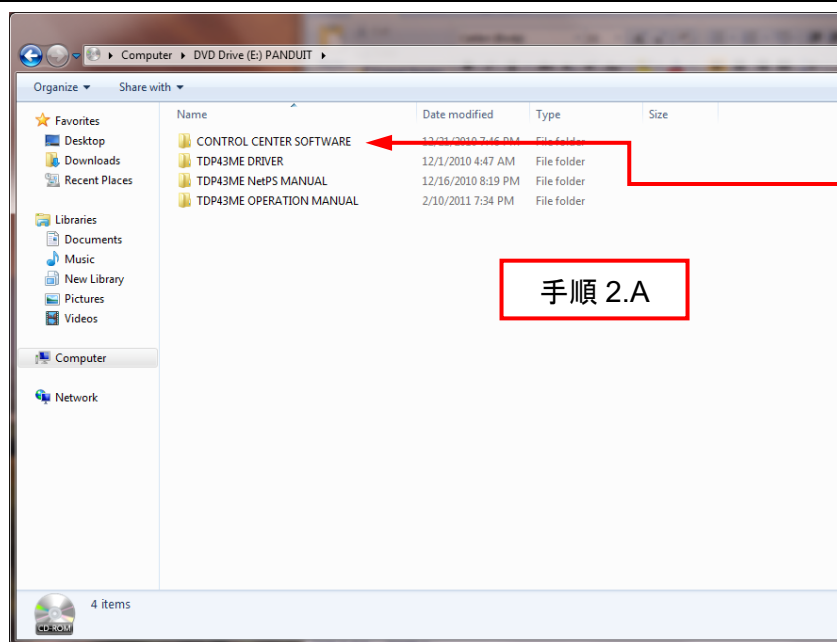
プリンタがオフラインの場合、「プリンター」メニューを右クリックして、「プリンターをオフラインで使用する」オプションを

クリックしてチェックマークを外します。チェックマークを外すと、プリンタはオンラインまたは準備完了に設定されます。



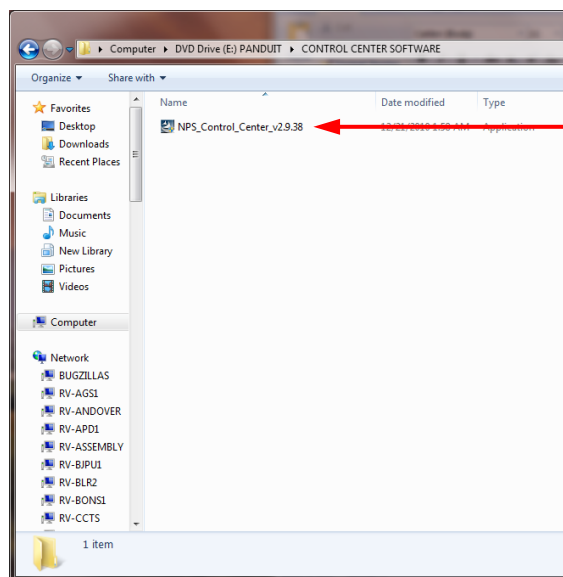
これで見出しからオフラインの記述がなくなります。何も記されていないれば、オンラインになっており、次の手順に進めます。

### 手順 2. プリンタ用の IP アドレスの取得:



プリンタに付属の CD 内または Panduit.com にある Control Center ソフトウェアを開いてインストールします。

Control Center ソフトウェアのフォルダを開きます。

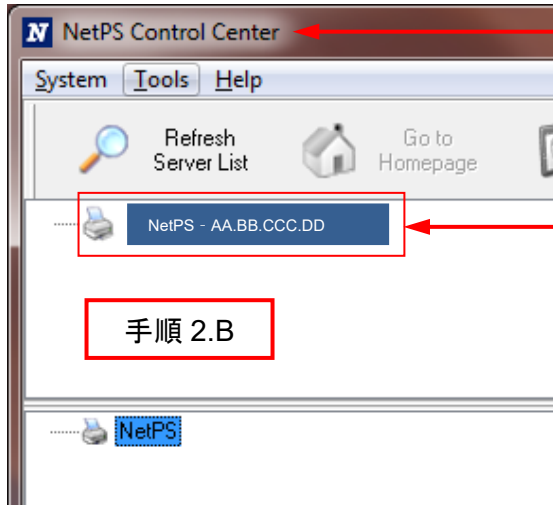


NPS Control Center アイコンをダブルクリックしてソフトウェアを開始します。

プリンタのイーサネットポートを覆っているラベルを取り去ります。

イーサネットケーブルをネットワークコネクタに差し込みます。

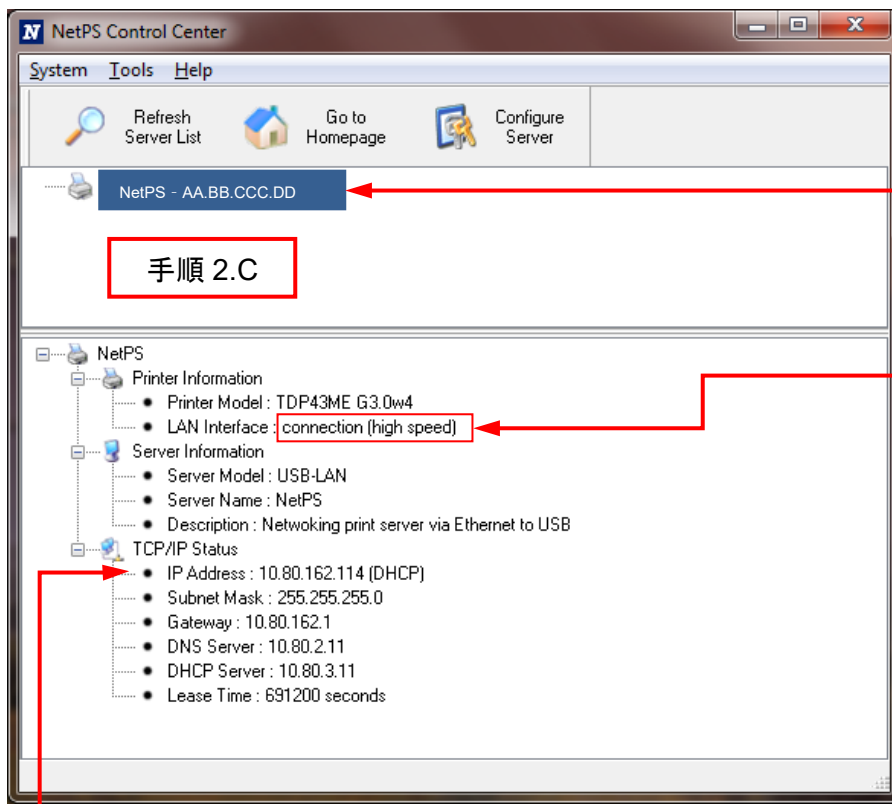
デスクトップに置かれたアイコンから、Control Center ソフトウェアを開きます。



手順 2.B

CONTROL CENTER ソフトウェアを開き、ソフトウェアが開いたときに表示される NetPS アドレスを書き留めます。(イーサネットケーブルがプリンタに接続している必要があります)。

**注:**  
アドレスが NetPS の横に表示されない場合は、イーサネットケーブルが有効でないか、イーサネットケーブルが差し込まれていないまたは有効ではないか、DHCP が IP アドレスを提供していません。数値/アドレスが NetPS の横に表示されていることが**必要です**。このような状況のいずれかに当てはまる場合は、Control Center ソフトウェアを再起動する必要があります。



手順 2.C

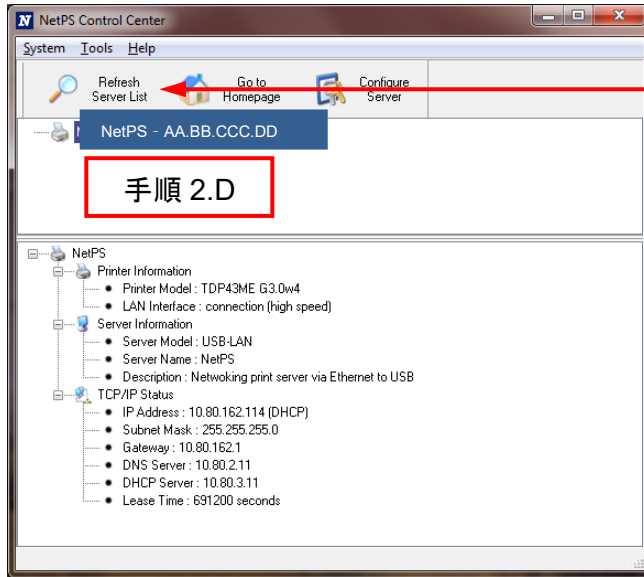
NetPS の横に IP アドレスが表示されていれば、この数値を書き留めます。静的 IP アドレスを使用しない場合は、手順 3 に進みます。

どのポートが有効になっているかは、次のように簡単に確認できます。

IP アドレスをクリックして強調表示します。下のステータスボックスに情報が表示されます。プリンタモデルの行の下に、LAN インターフェイスのステータス行があります。行に「DISCONNECTION」と表示されている場合は、USB ポートが有効になっています。行に「HIGH SPEED」と表示されている場合は、イーサネットポートが有効になっています。

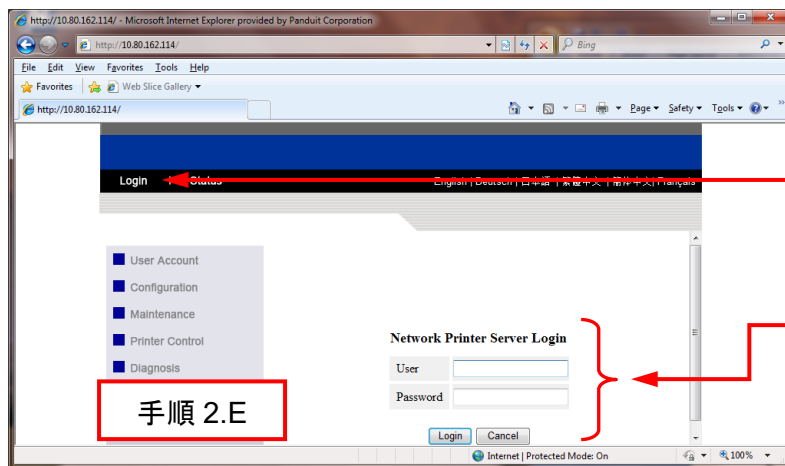
DHCP は、イーサネットポートにデバイスが接続されると、サーバーから自動的に IP アドレスを割り当てるシステムです。このシステムの他のオプションは、静的 IP アドレスを手動で設定するというものです。それぞれのシステムには一長一短があります。DHCP アドレスは、この IP アドレスの時間限定「リース」です。この IP アドレスは、いずれは回収され、接続したデバイスは正しく機能できなくなる可能性があります。これに代わる方法が、静的 IP アドレスを手動で割り当てるというものです。これは、定まったシステムでは有効ですが、IT またはコンピュータ担当者の入力が必要になります。静的 IP アドレスを使用する場合、次の手順を使用して、このアドレスをプリンタ用に設定します。

静的 IP の設定手順:



「Go to Homepage」をクリックします。

この操作により、このプリンタに関連付けられた内部 Web ページが開きます。

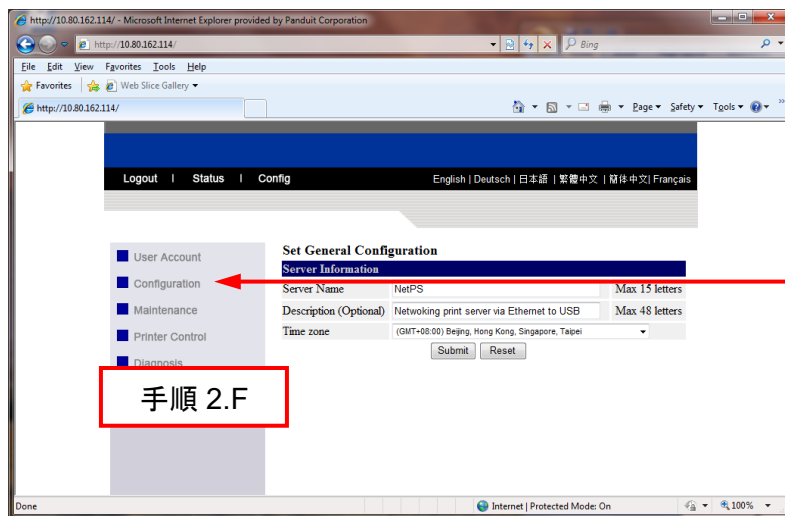


Web ページが開きます。

「Login」ボタンをクリックします。

ユーザーとパスワードは *admin* および *admin* (どちらも小文字) です。

「Login」ボタンをクリックします。



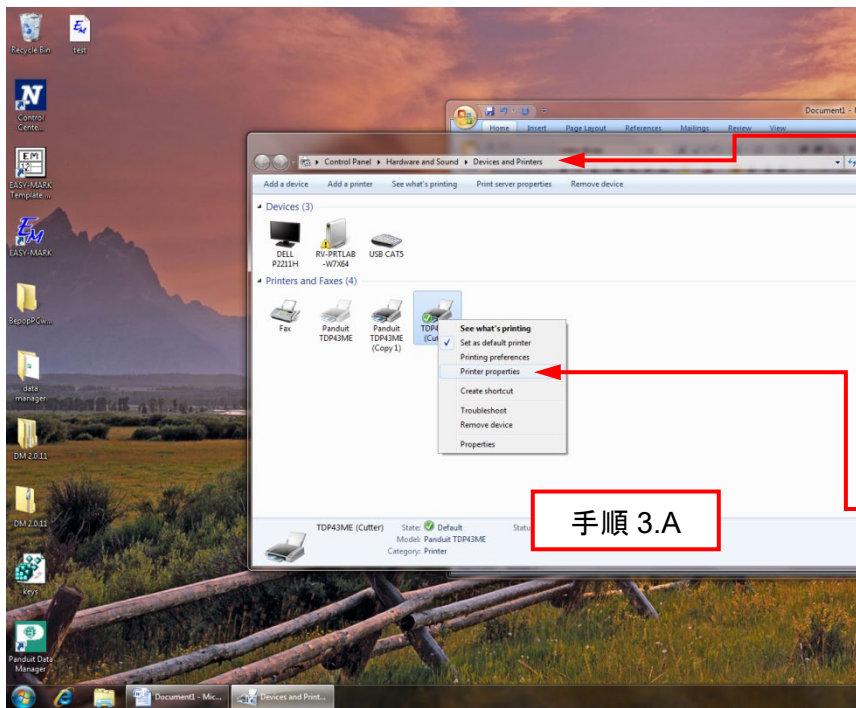
「Configuration」ボタンをクリックします。



「TCP/IP」をクリックします。これにより、右側にページが表示されます。

「STATIC IP」をクリックし、ITまたはネットワーク管理者から与えられた情報を入力します。

### 手順 3.IP アドレスへのポート選択の変更:

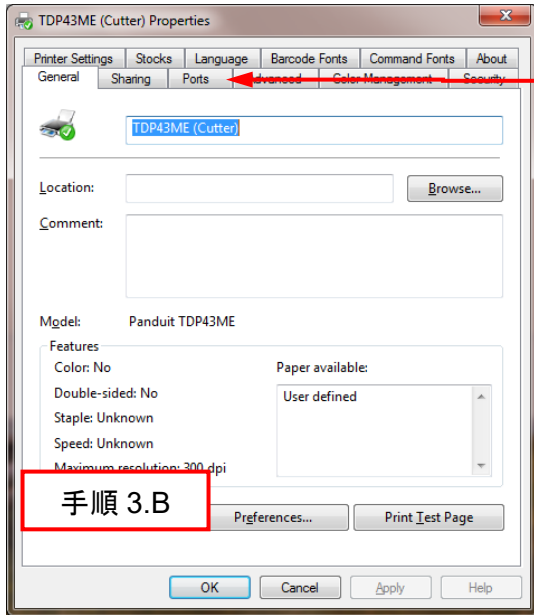


実際の IP アドレスを書き留めた後、左下の Windows オープをクリックして、「デバイスとプリンター」を開きます。

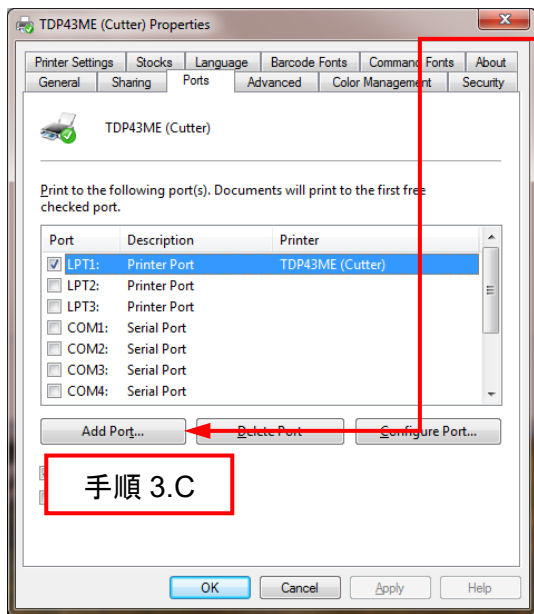
「デバイスとプリンター」行をクリックします。このコンピュータから制御される同じプリンタを強調表示して、右クリックします。

「プリンターのプロパティ」行をクリックします。



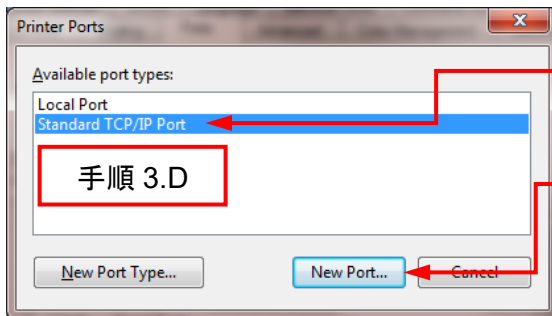


「プリンターのプロパティ」の「ポート」タブをクリックします。



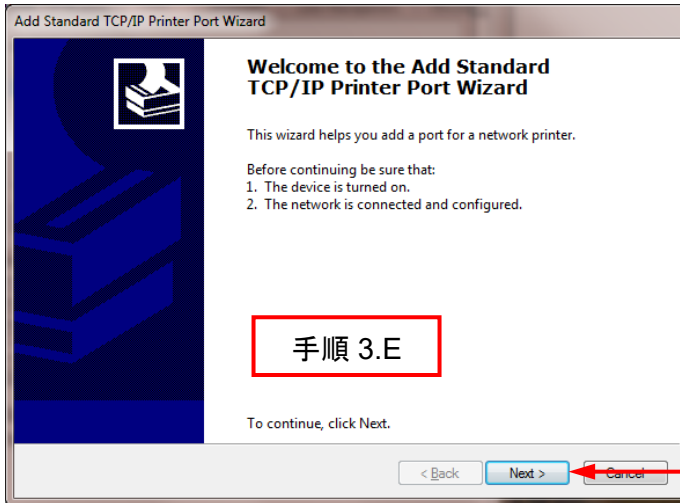
新しいイーサネットポートは、ポート印刷のオプションとして追加する必要があります。

「ポートの追加」ボタンをクリックします。



「Standard TCP/IP Port」をクリックして強調表示します。

「新しいポート」ボタンをクリックします。



「標準 TCP/IP プリンターポートの追加ウィザード」ウィンドウが開きます。

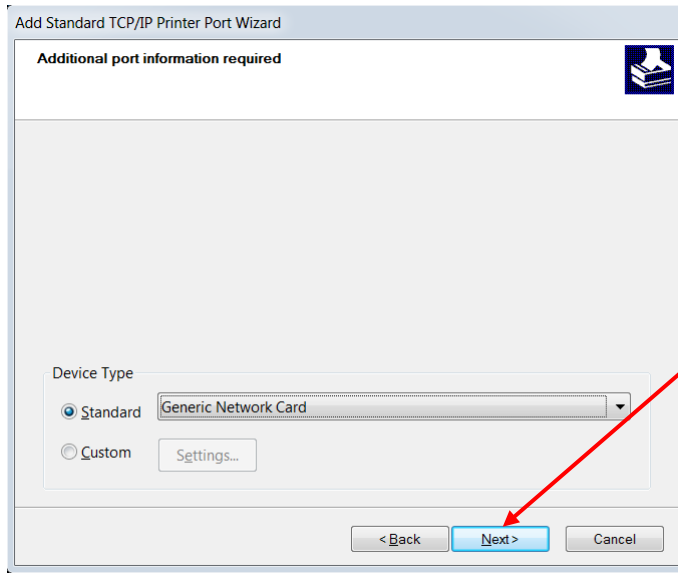
「次へ」をクリックします。



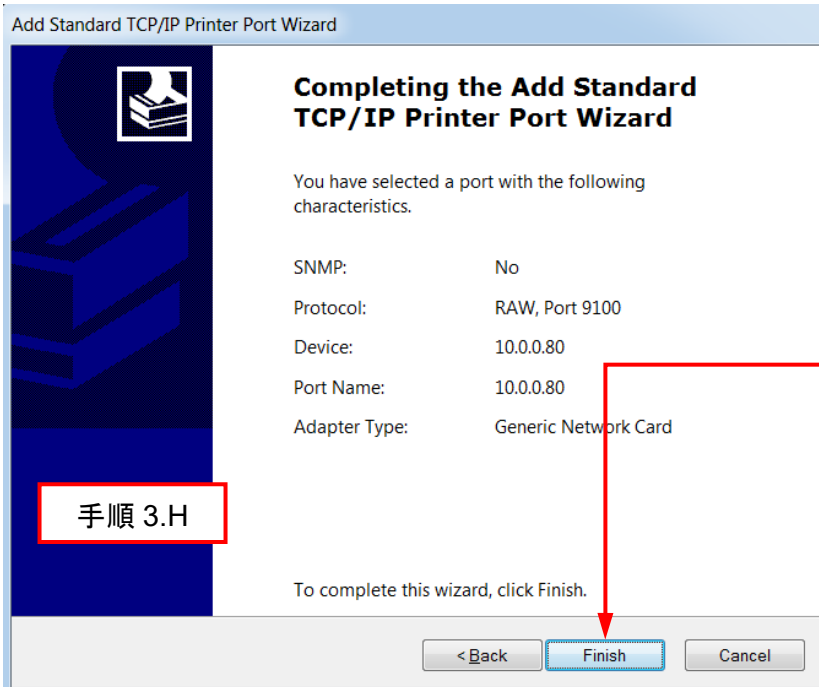
Control Center ソフトウェアの NetPS 行から書き留めた IP アドレスを入力します。

または、このプリンタに静的 IP アドレスを使用している場合は、これを入力します。  
(「ポート名」行は自動的に入力されます)。

「次へ」をクリックします。



「次へ」をクリックします。



「完了」をクリックします。

手順 3.H

Print to the following port(s). Documents will print to the first free checked port.

Port	Description	Printer
<input type="checkbox"/>	COM2: Serial Port	
<input type="checkbox"/>	COM3: Serial Port	
<input type="checkbox"/>	COM4: Serial Port	
<input type="checkbox"/>	FILE: Print to File	
<input type="checkbox"/>	USB001 Virtual printer port f...	Panduit TDP43ME
<input type="checkbox"/>	LAN_P... Standard TCP/IP Port	
<input checked="" type="checkbox"/>	10.0.0... Standard TCP/IP Port	
<input type="checkbox"/>	XPSPo... Local Port	Microsoft XPS Document Wr...

Buttons: Add Port..., Delete Port, Configure Port...

Buttons: OK, Cancel, Apply, Help

手順 3.J

2

1

新しいポートにチェックマークが付けられています。

「適用」をクリックし、続いて「閉じる」または「OK」をクリックします。

これでイーサネットポートが有効になり、プリンタのポートとして設定されました。

Printer Settings | Stocks | Language | Barcode Fonts | Command Fonts | About

General | Sharing | Ports | Advanced | Color Management | Security

Panduit TDP43ME

Location:

Comment:

Model: Panduit TDP43ME

Features:

Color: No

Double-sided: No

Staple: Unknown

Speed: Unknown

Maximum resolution: 300 dpi

Paper available: User defined

Buttons: Preferences..., Print Test Page

Buttons: Close, Cancel, Apply, Help

1

2

接続をテストするには、最上部 2 段の「全般」タブをクリックします。

「テストページの印刷」ボタンをクリックして、このプリンタに出力します。テストページが印刷されます。

これでプリンタは、イーサネットポート印刷に設定されました。

すべてのウィンドウを閉じ、USB ケーブルを抜きます。

## 5.警告情報

電源コードは接地コンセントに接続してください。

本装置は、子どもがいる可能性が高い場所での使用には適していません。